

図-6. 16. 1. 2(13) 嘉陽沖で確認された個体の行動軌跡（平成 20 年 2 月 4 日、No.16）

資料：「シュワブ(H18)環境現況調査（その3）報告書」平成 20 年 12 月、沖縄防衛局

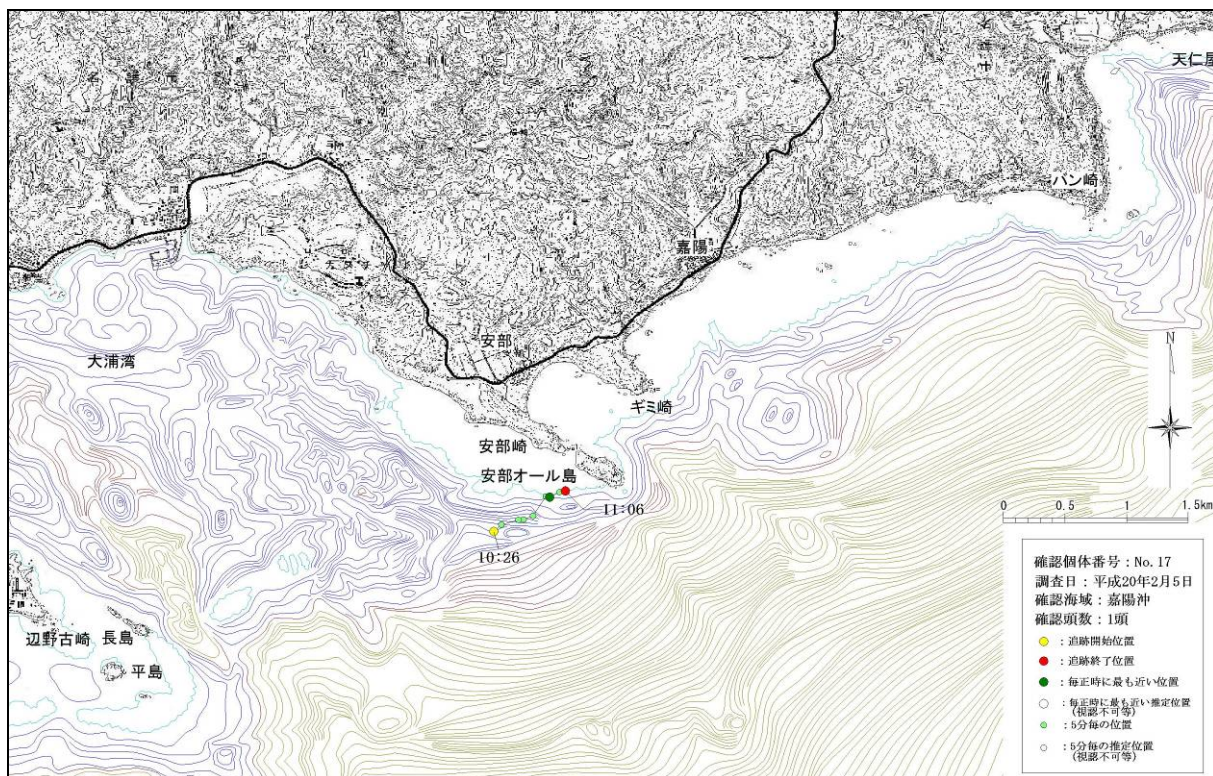


図-6. 16. 1. 2(14) 嘉陽沖で確認された個体の行動軌跡（平成 20 年 2 月 5 日、No.17）

資料：「シュワブ(H18)環境現況調査（その3）報告書」平成 20 年 12 月、沖縄防衛局

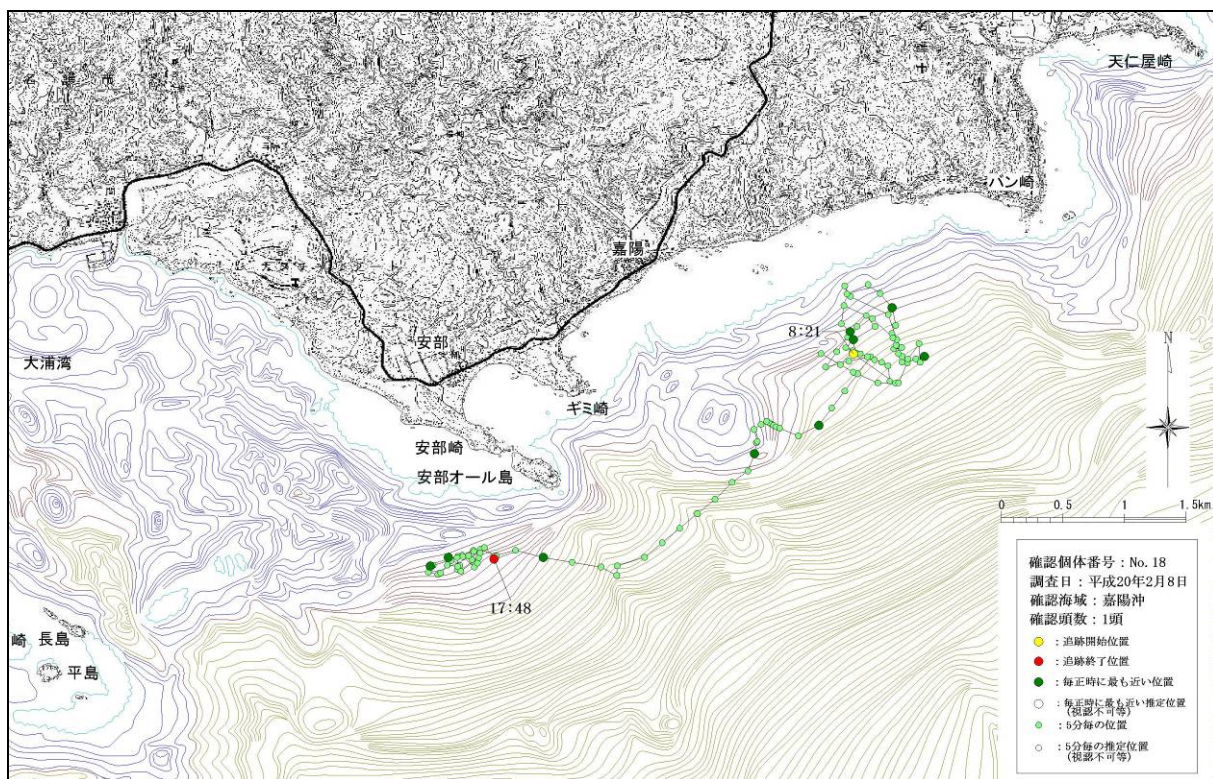


図-6. 16. 1. 2(15) 嘉陽沖で確認された個体の行動軌跡（平成 20 年 2 月 8 日、No.18）

資料：「シュワブ(H18)環境現況調査（その3）報告書」平成 20 年 12 月、沖縄防衛局

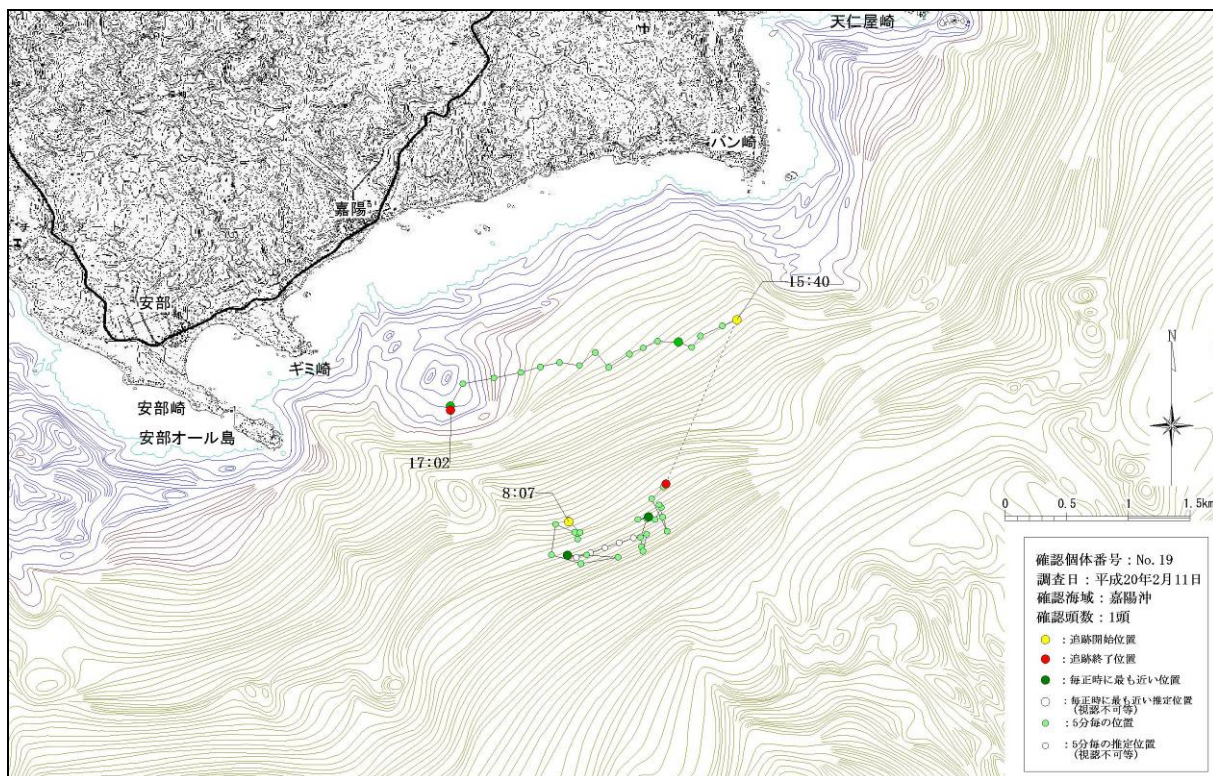


図-6. 16. 1. 2(16) 嘉陽沖で確認された個体の行動軌跡（平成 20 年 2 月 11 日、No.19）

資料：「シュワブ(H18)環境現況調査（その3）報告書」平成 20 年 12 月、沖縄防衛局

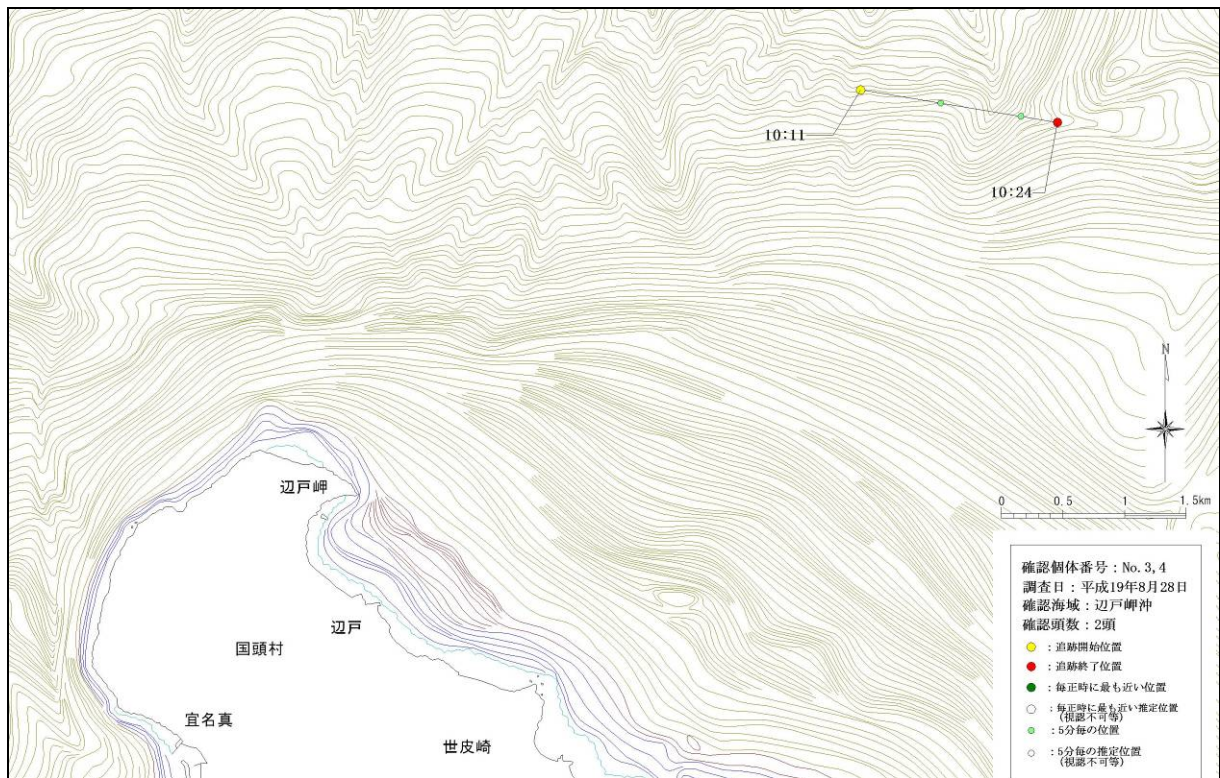


図-6.16.1.3 辺戸岬沖で確認された個体の行動軌跡（平成19年8月28日、No.3、4）
 資料：「シュワブ(H18)環境現況調査（その3）報告書」平成20年12月、沖縄防衛局

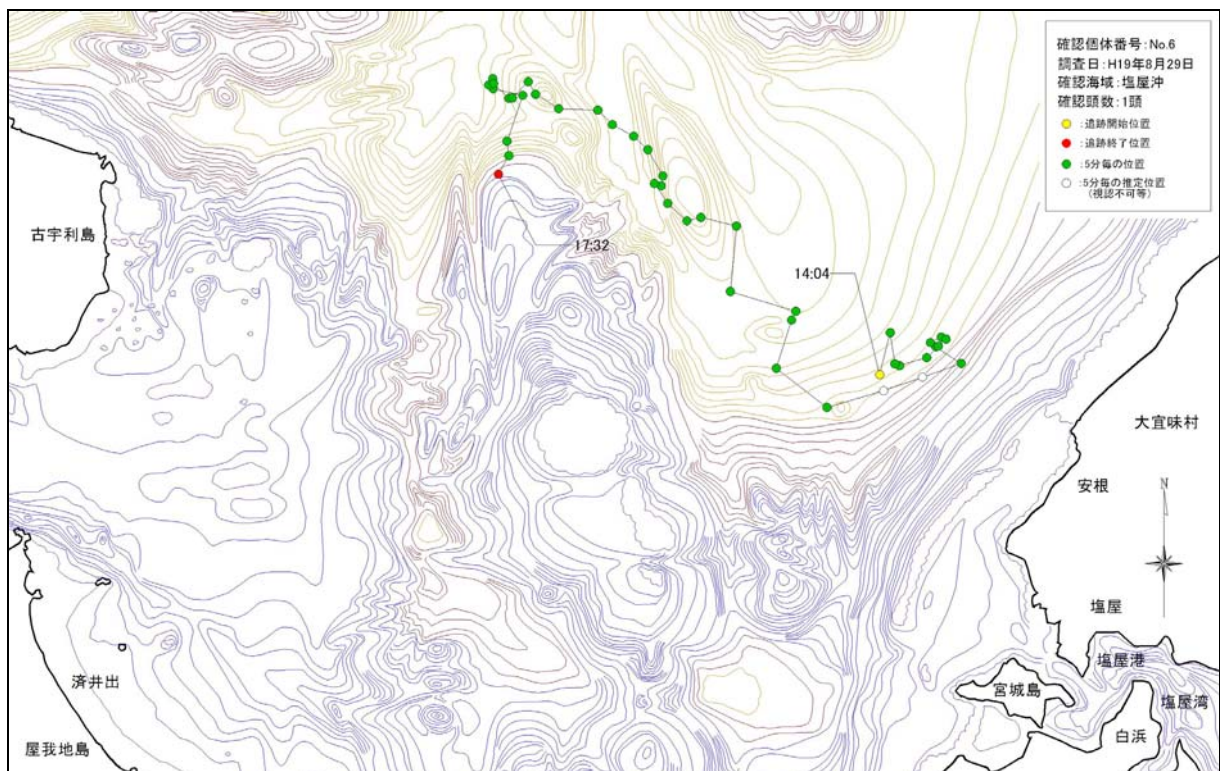
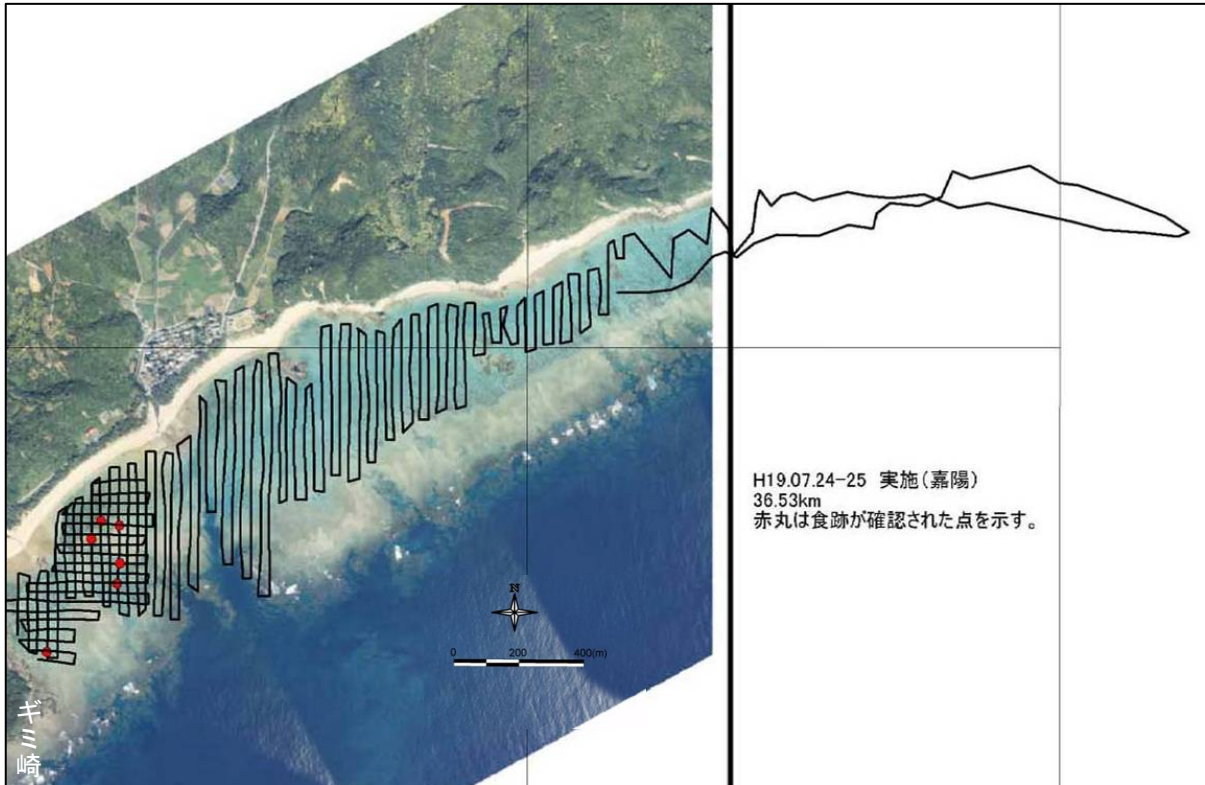


図-6.16.1.4 古宇利島沖で確認された個体の行動軌跡（平成19年8月29日、No.6）
 資料：「シュワブ(H18)環境現況調査（その3）報告書」平成20年12月、沖縄防衛局

【平成 19 年度 第 1 回】



【平成 19 年度 第 2 回】

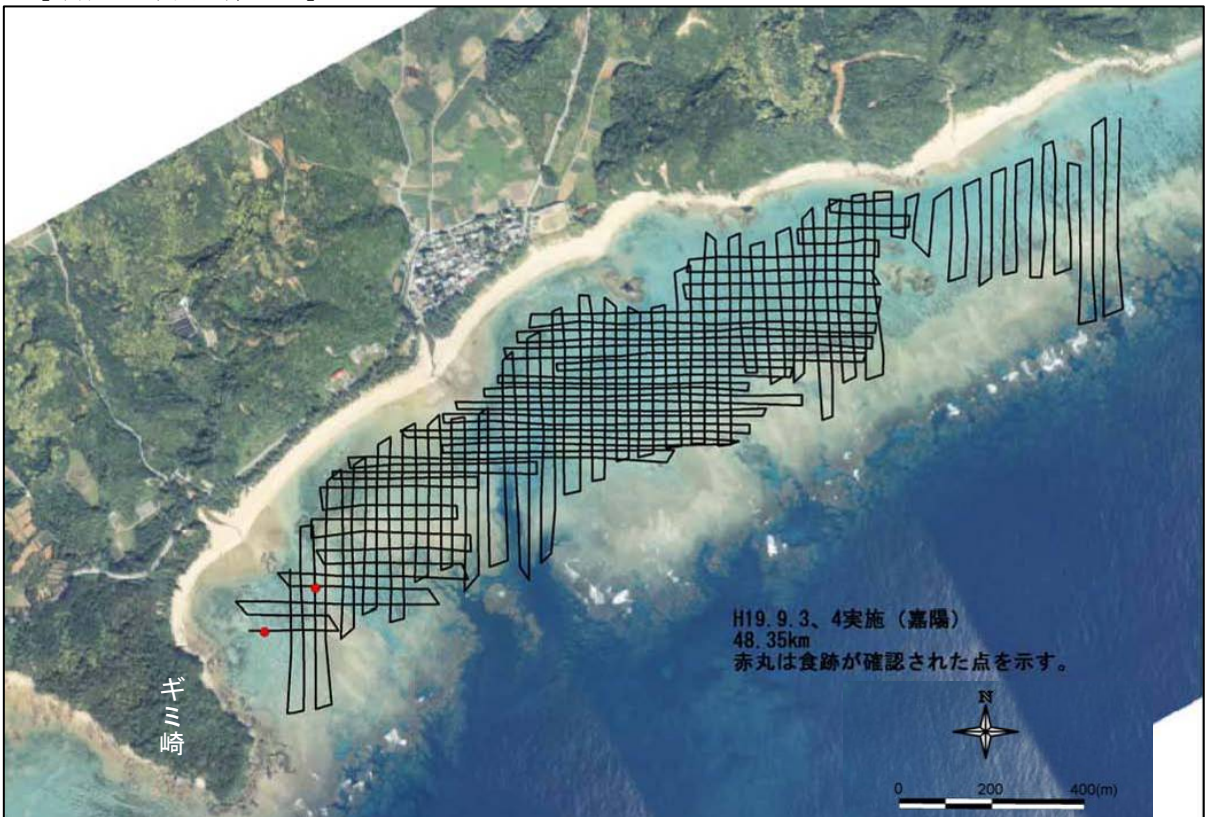
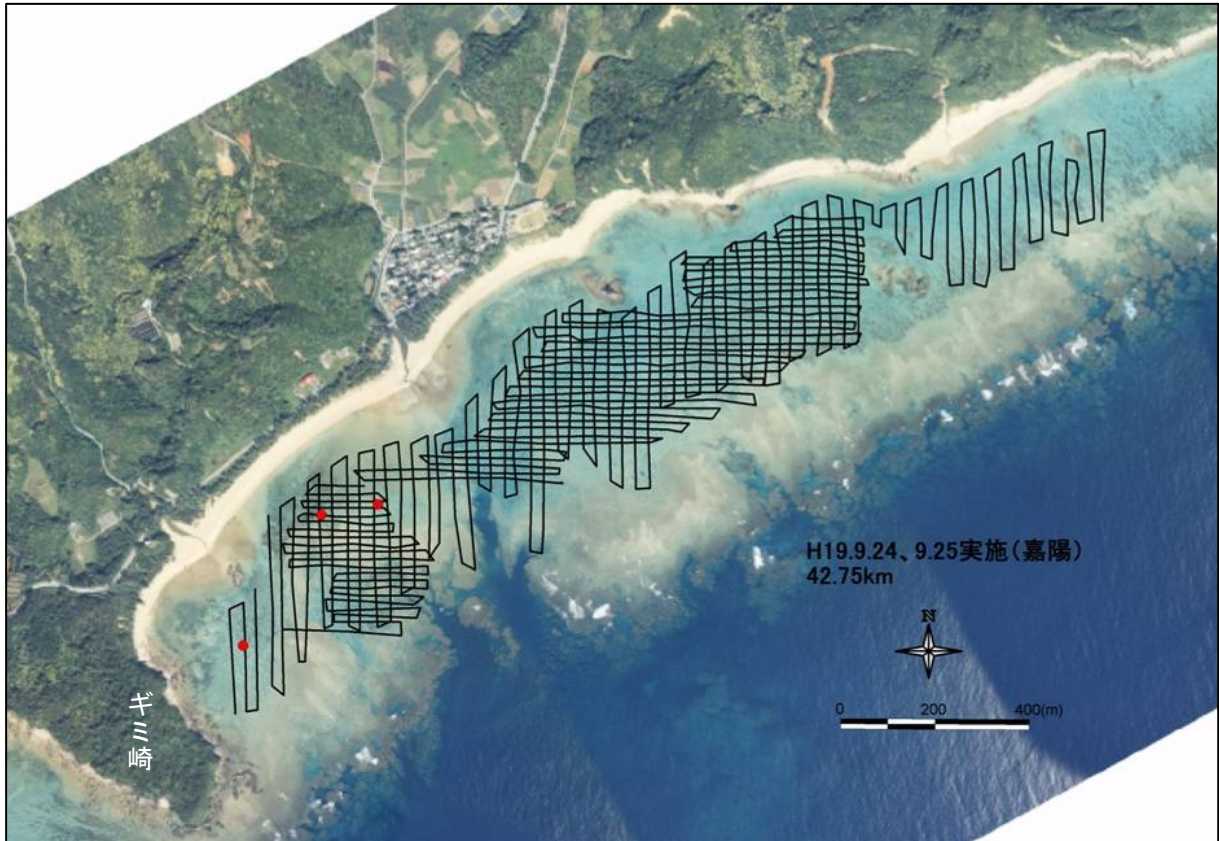


図-6.16.1.5(1) 嘉陽地区におけるマンタ調査の航跡と食跡確認位置 (平成 19 年度)

注) 他の調査地区では、調査時期を通じて食跡は確認されませんでした。

資料: 「シュワブ(H18)環境現況調査(その3)報告書」平成 20 年 12 月、沖縄防衛局

【平成 19 年度 第 3 回】



【平成 19 年度 第 4 回】

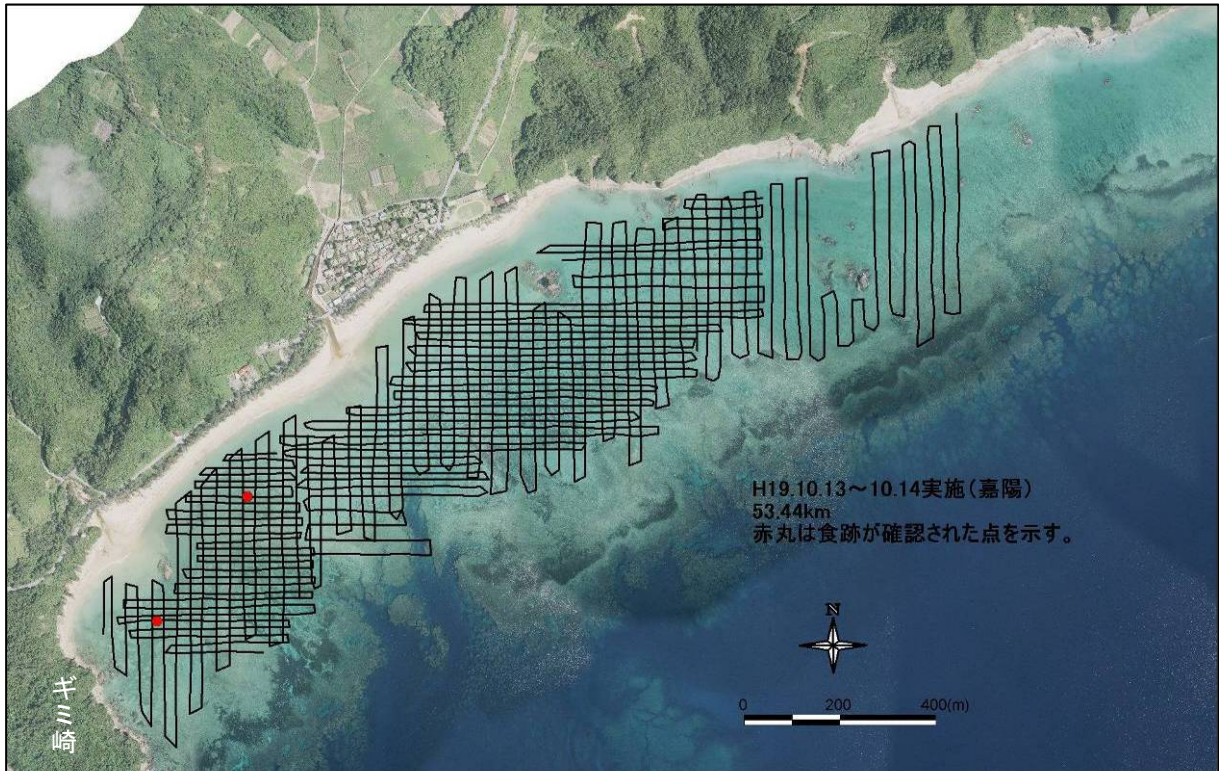


図-6.16.1.5(2) 嘉陽地区におけるマンタ調査の航跡と食跡確認位置 (平成 19 年度)

注) 他の調査地区では、調査時期を通じて食跡は確認されませんでした。

資料: 「シュワブ(H18)環境現況調査(その3)報告書」平成 20 年 12 月、沖縄防衛局

【平成 19 年度 第 5 回】



【平成 19 年 第 6 回】

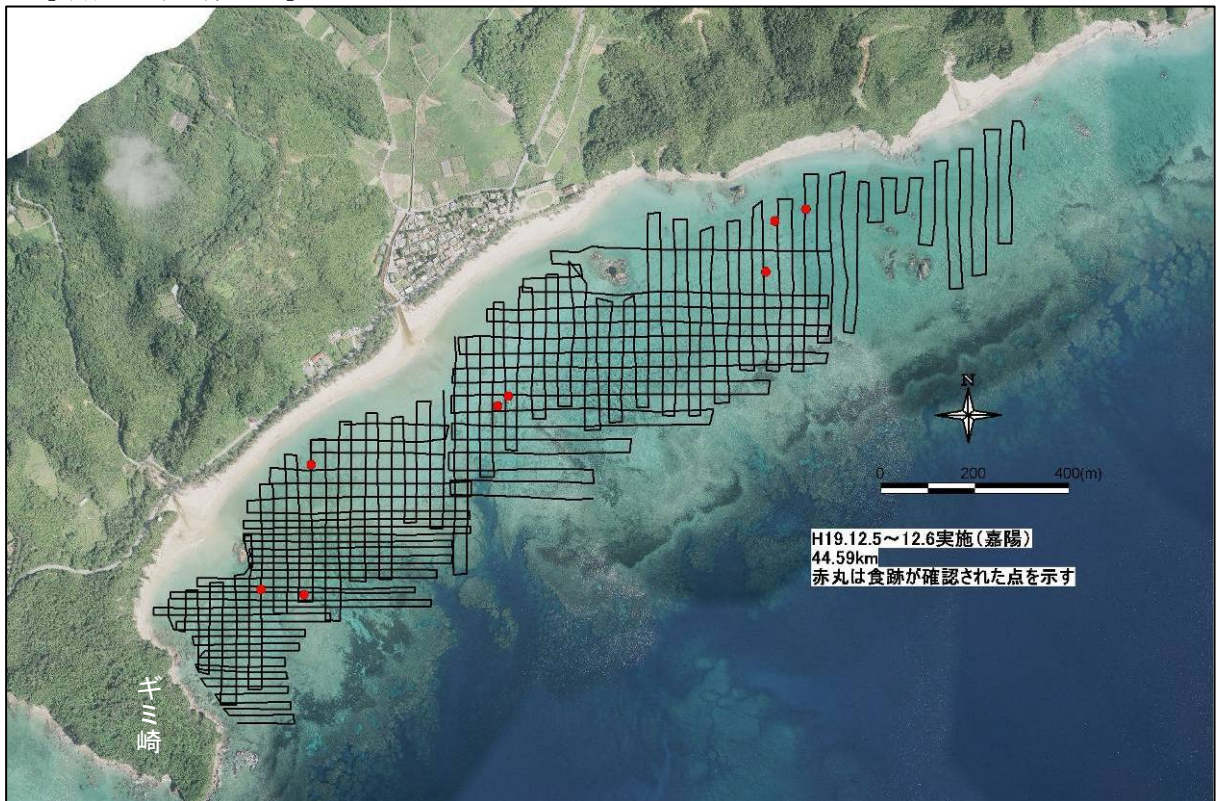
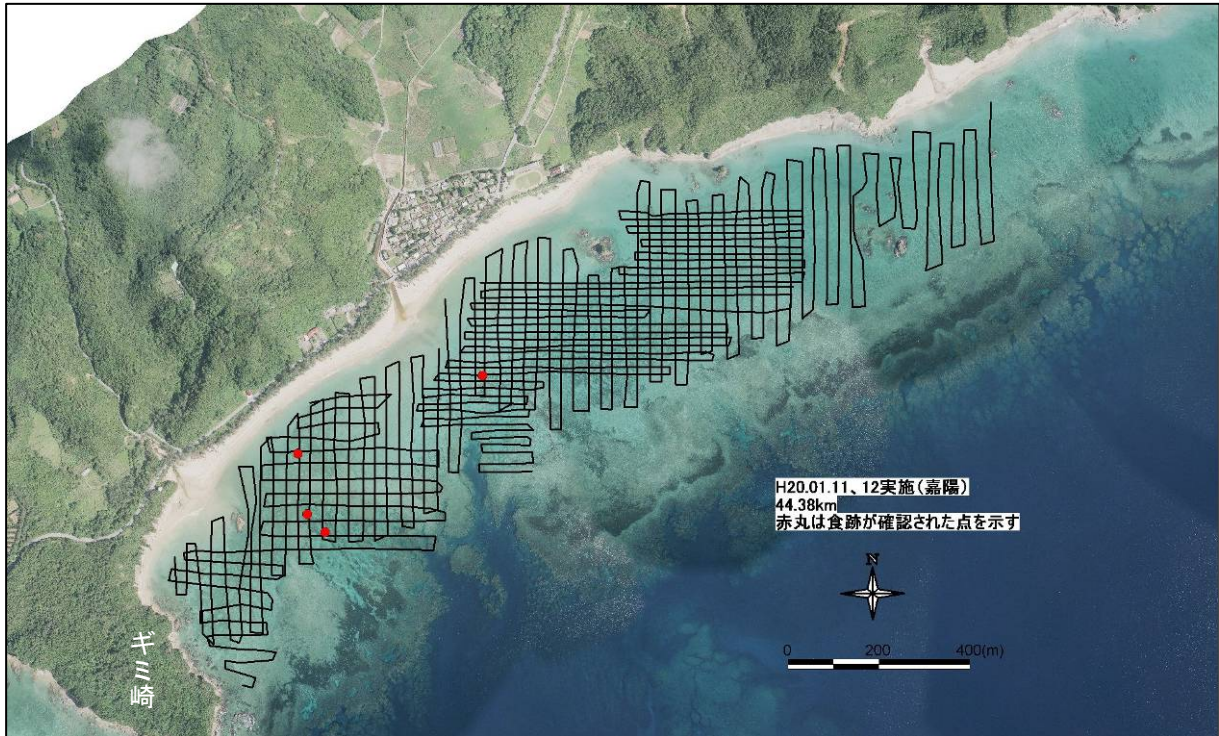


図-6.16.1.5(3) 嘉陽地区におけるマンタ調査の航跡と食跡確認位置(平成19年度)

注) 他の調査地区では、調査時期を通じて食跡は確認されませんでした。

資料:「シュワブ(H18)環境現況調査(その3)報告書」平成20年12月、沖縄防衛局

【平成 19 年度 第 7 回】



【平成 19 年度 第 8 回】

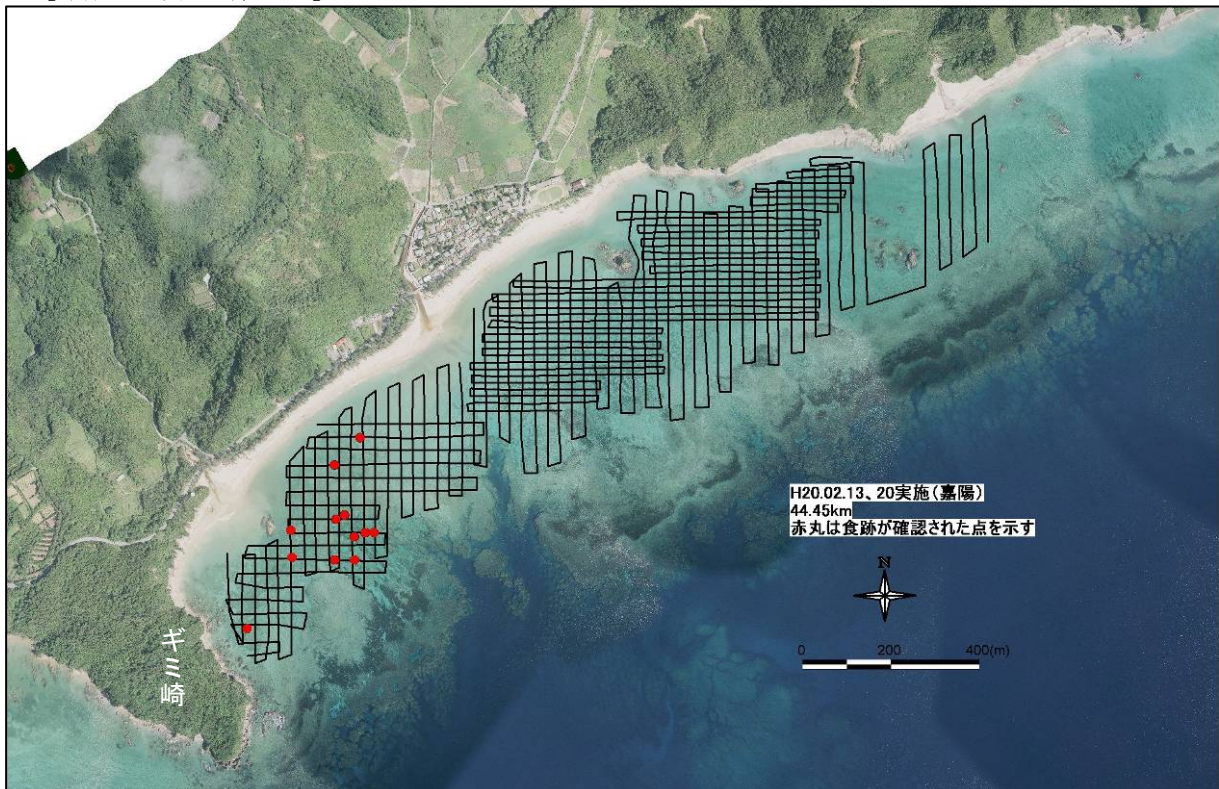
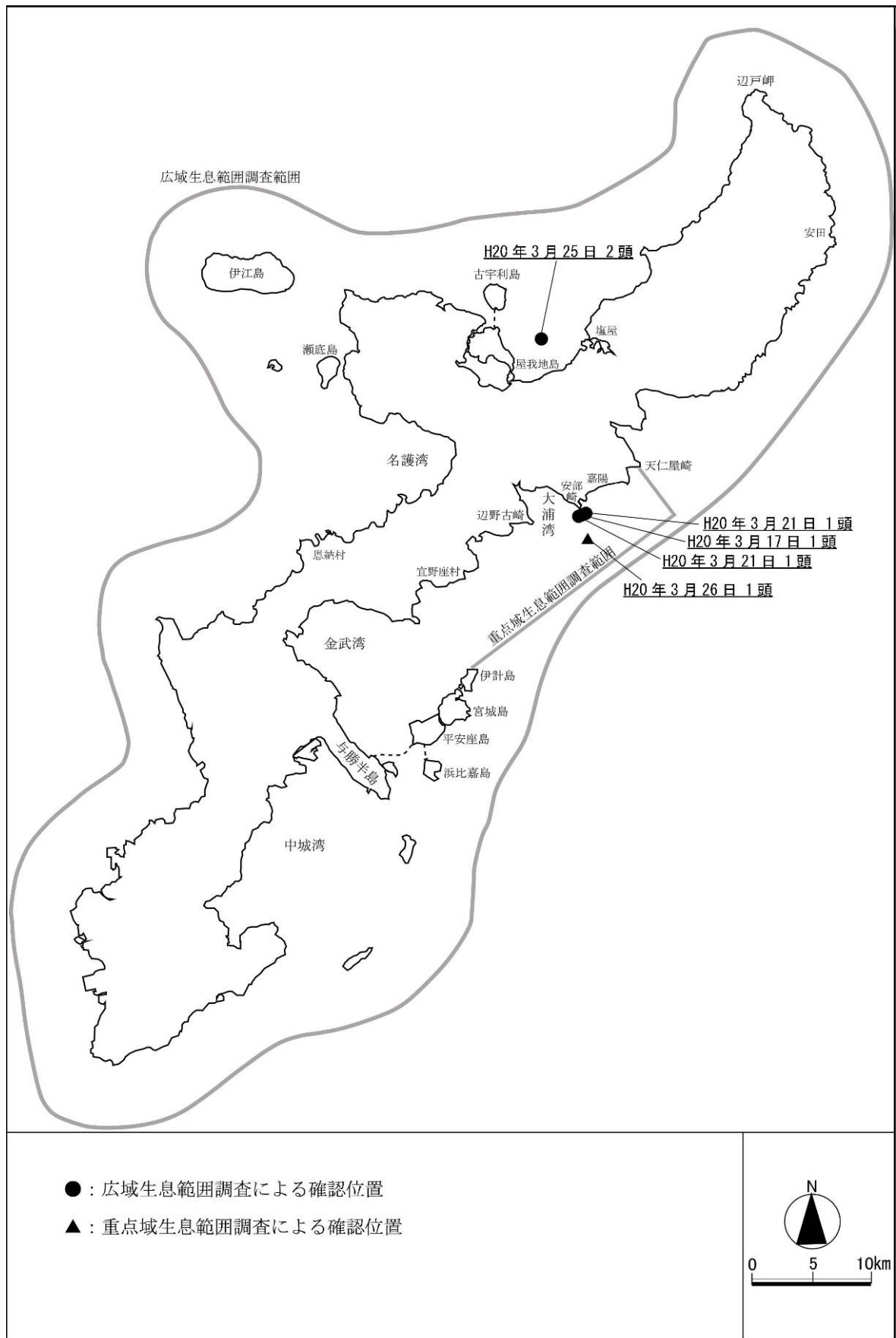


図-6.16.1.5(4) 嘉陽地区におけるマンタ調査の航跡と食跡確認位置 (平成 19 年度)

注) 他の調査地区では、調査時期を通じて食跡は確認されませんでした。

資料: 「シュワブ(H18)環境現況調査(その3)報告書」平成 20 年 12 月、沖縄防衛局



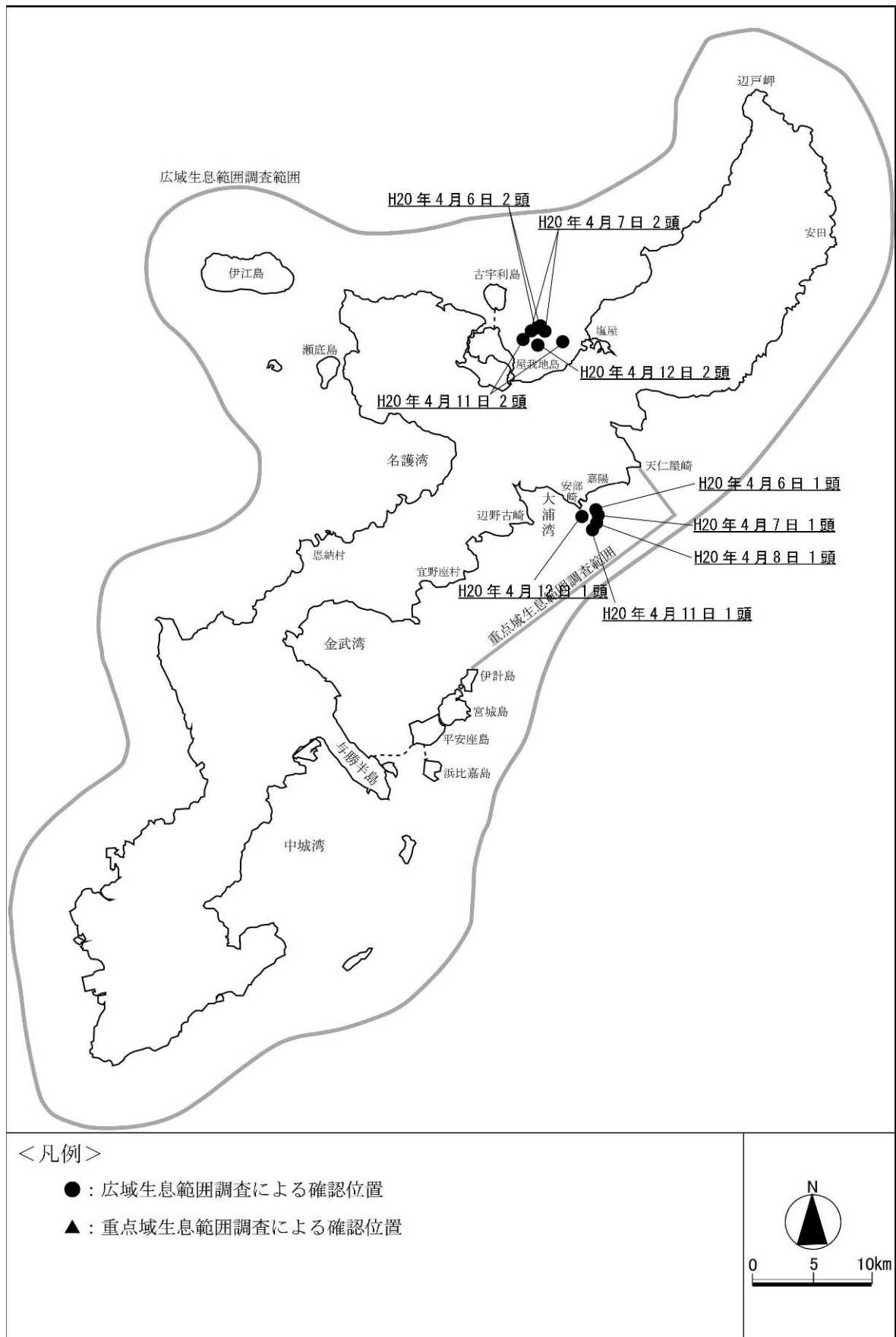


図-6. 16. 1. 6(2) 航空調査によるジュゴン確認位置 (平成 20 年 4 月)

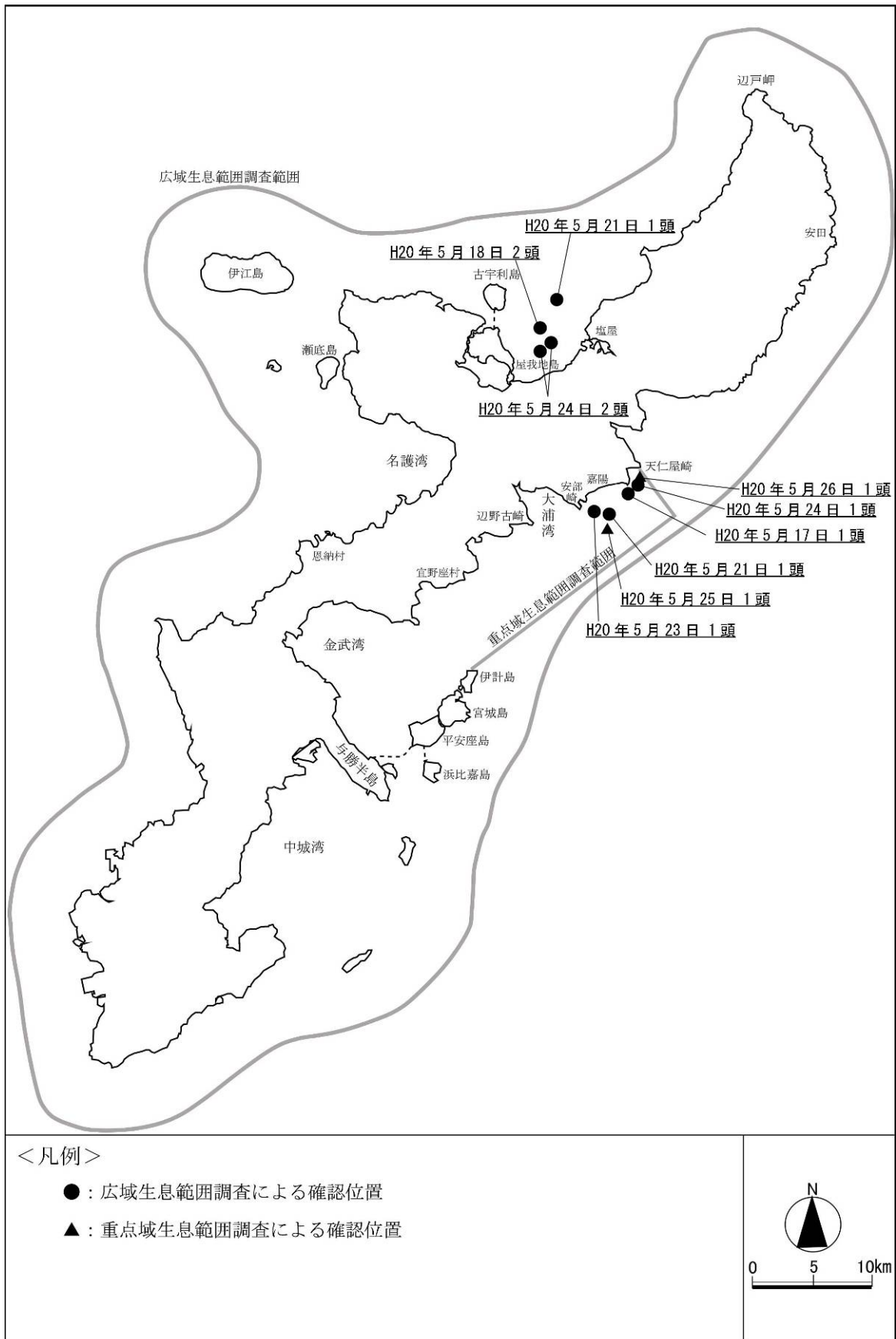


図-6.16.1.6(3) 航空調査によるジュゴン確認位置 (平成 20 年 5 月)

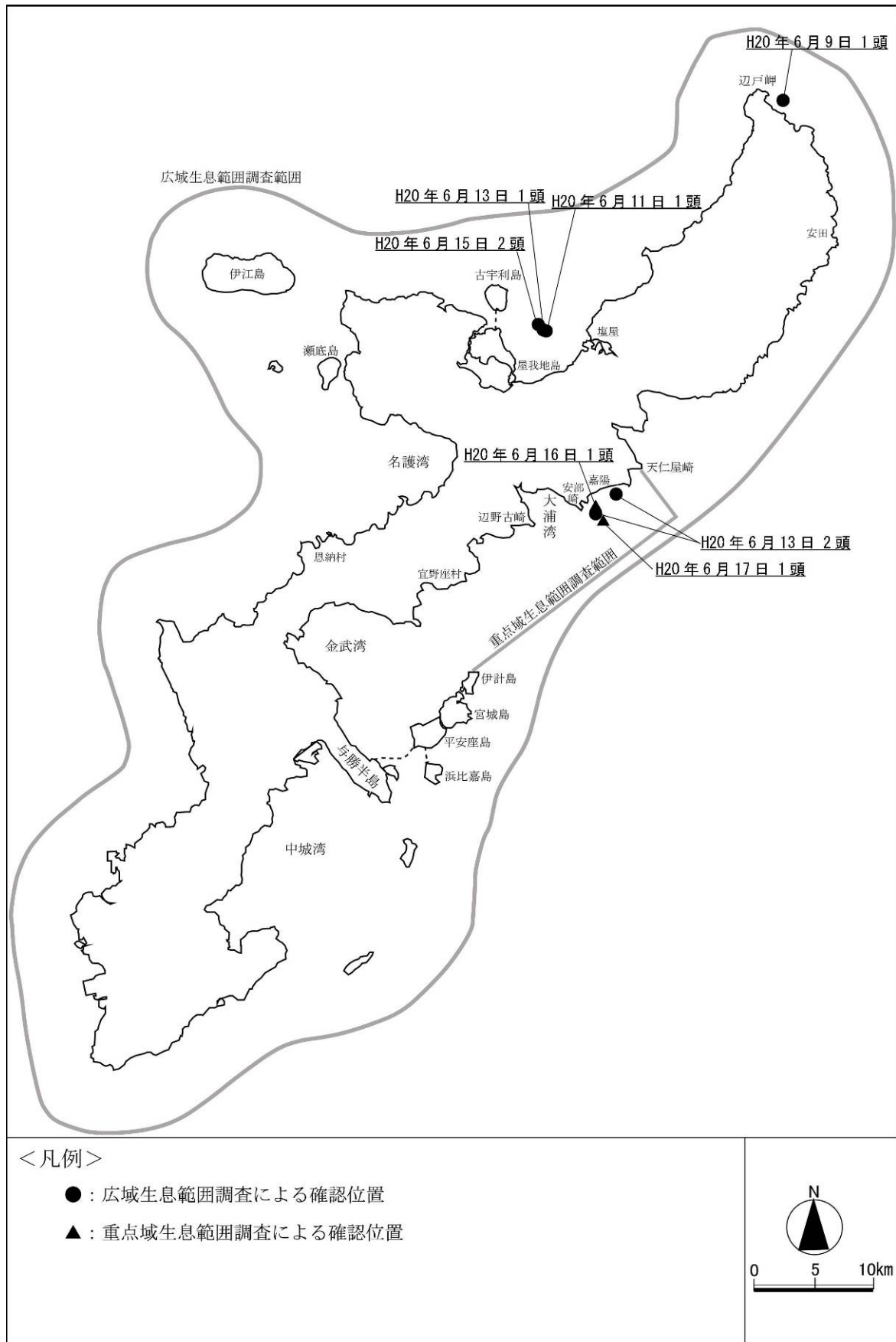


図-6. 16. 1. 6(4) 航空調査によるジュゴン確認位置 (平成 20 年 6 月)

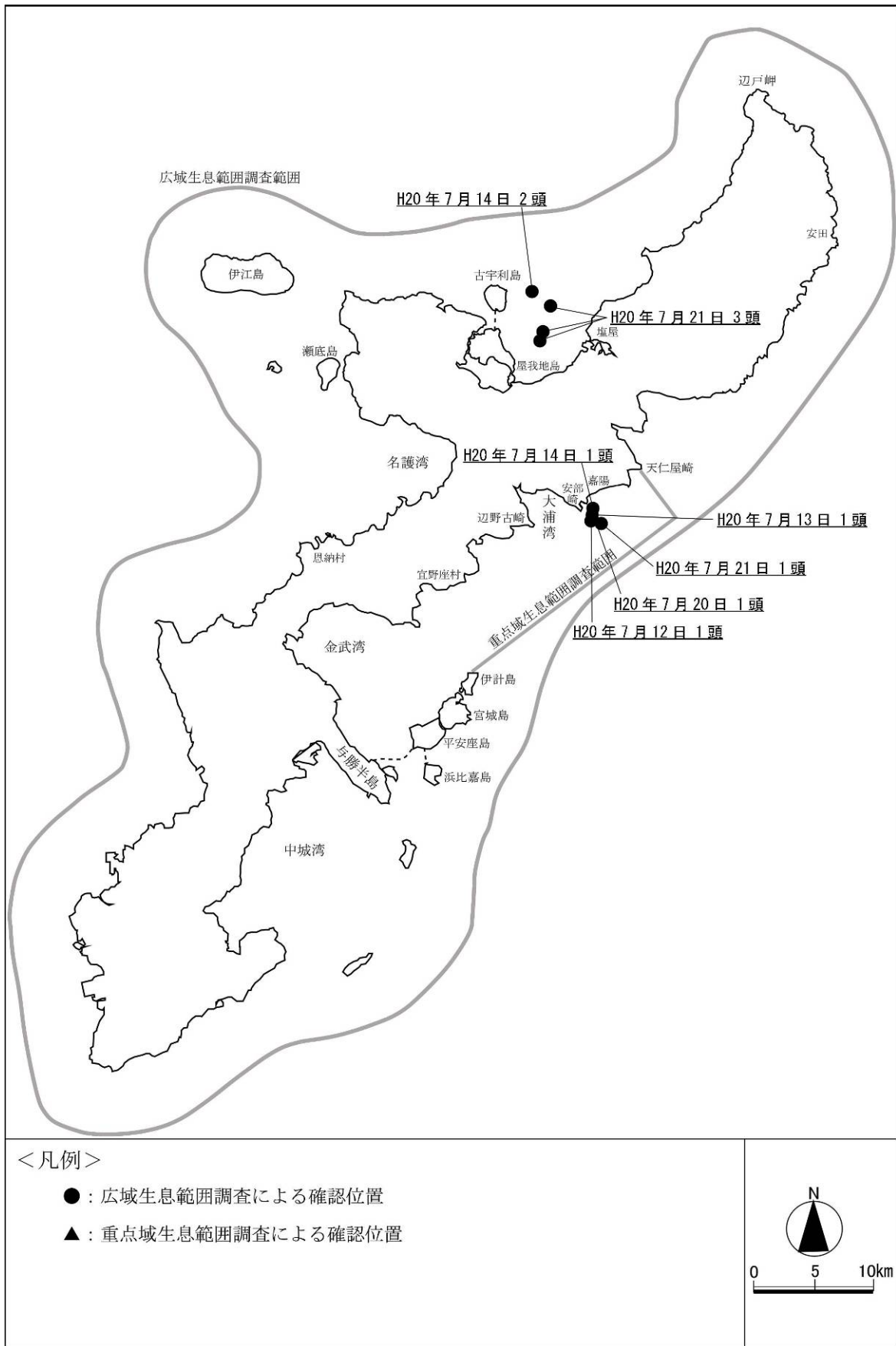


図-6. 16. 1. 6(5) 航空調査によるジュゴン確認位置 (平成 20 年 7 月)

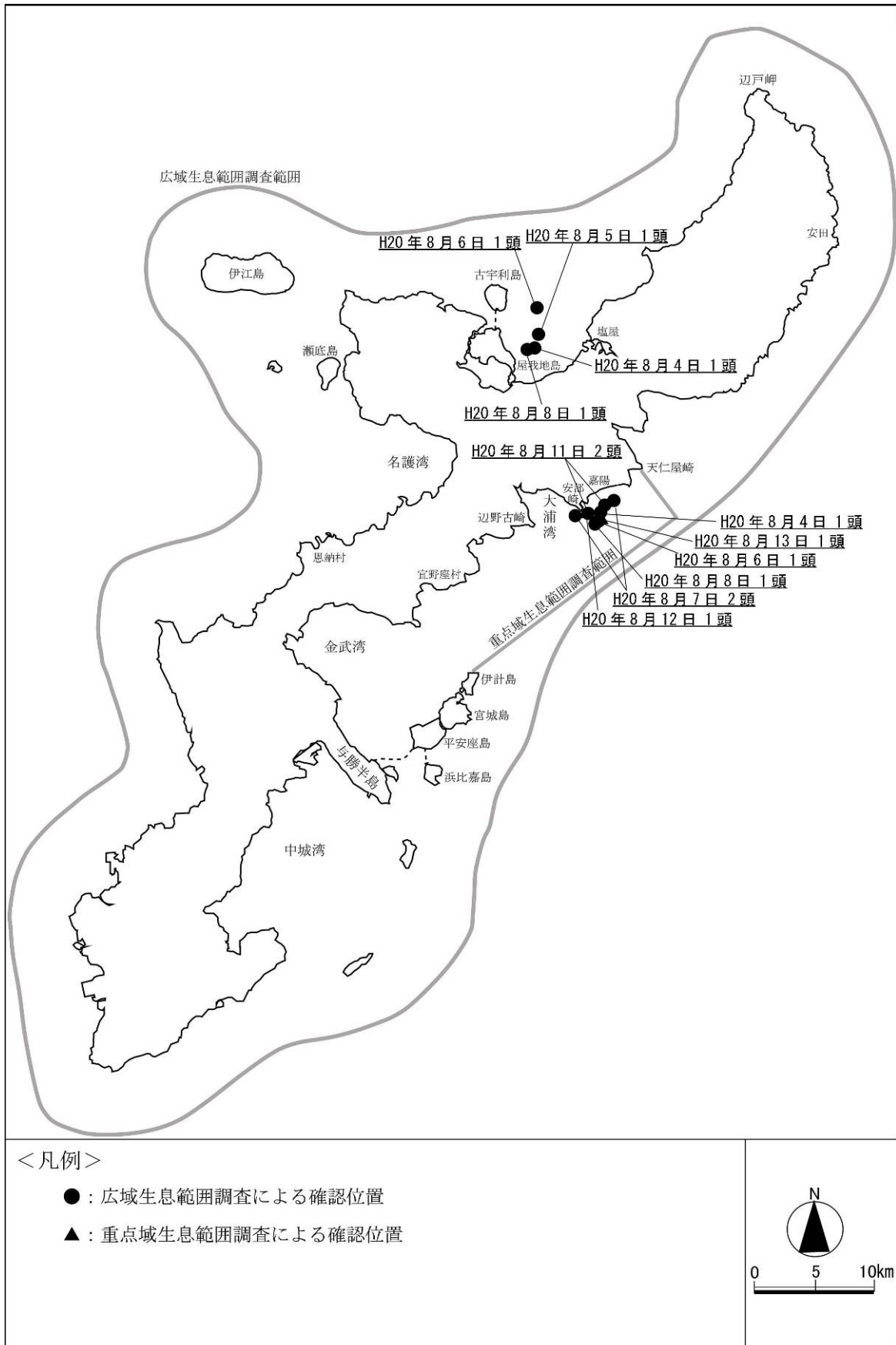


図-6. 16. 1. 6(6) 航空調査によるジュゴン確認位置 (平成 20 年 8 月)

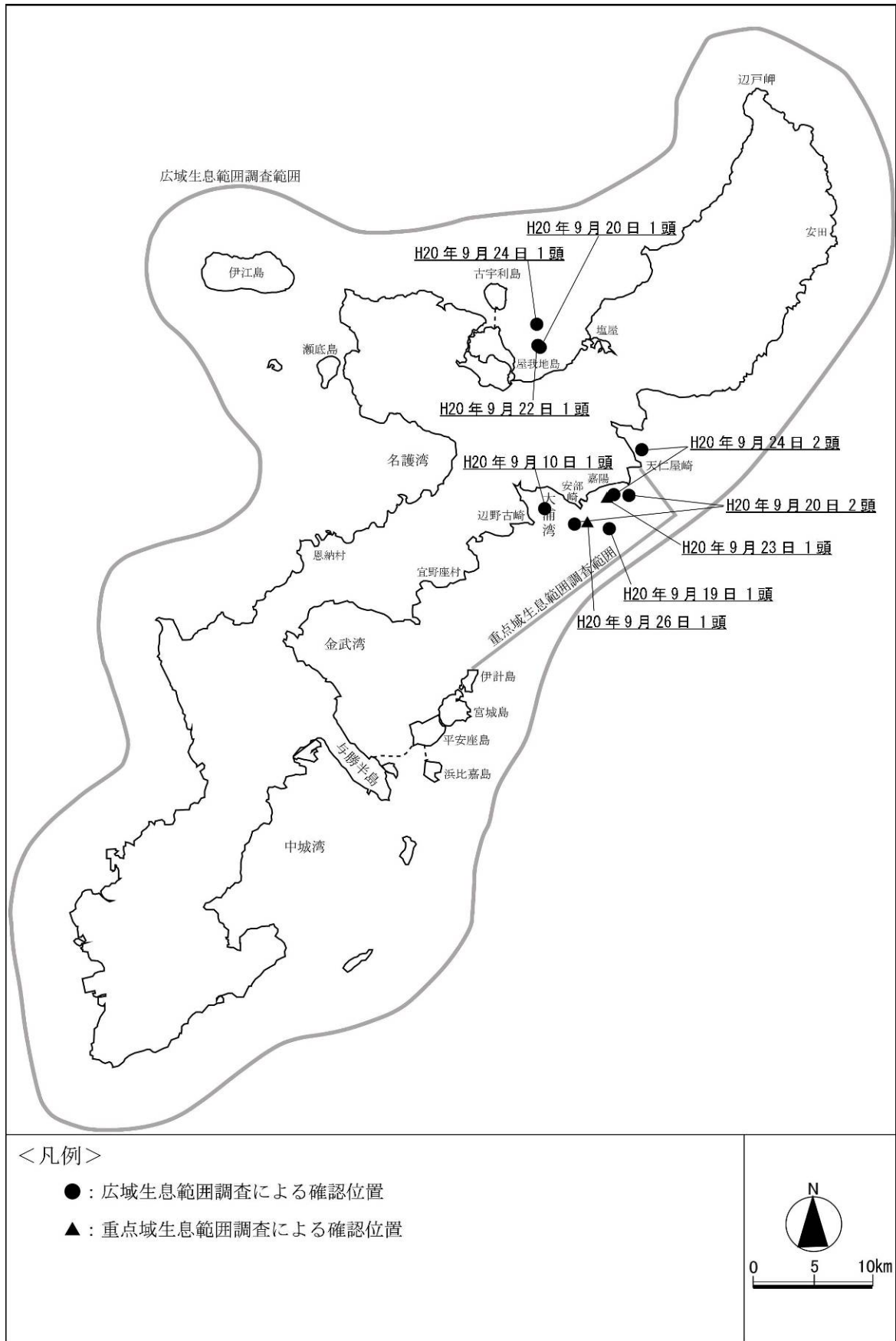
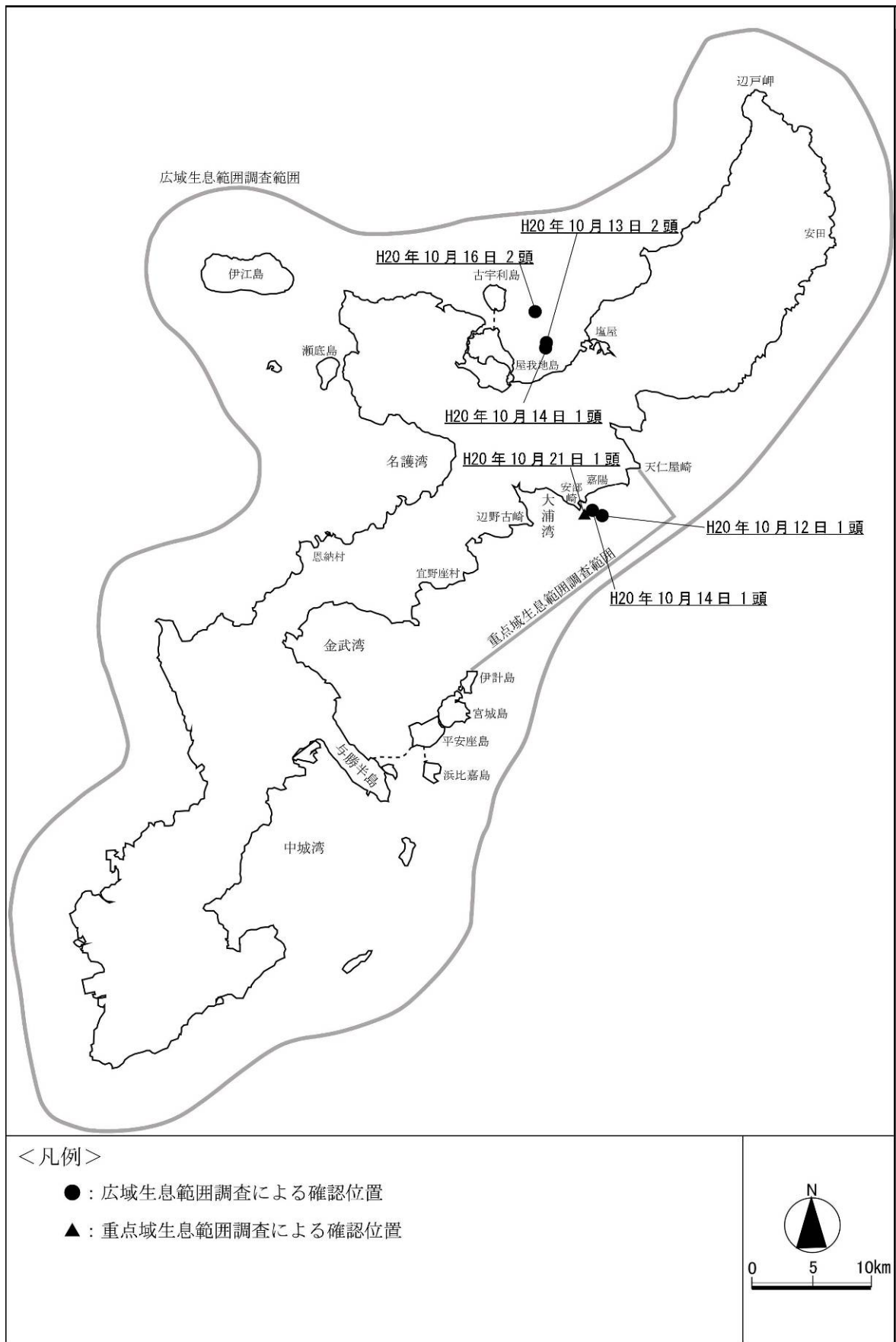


図-6. 16. 1. 6(7) 航空調査によるジュゴン確認位置 (平成 20 年 9 月)



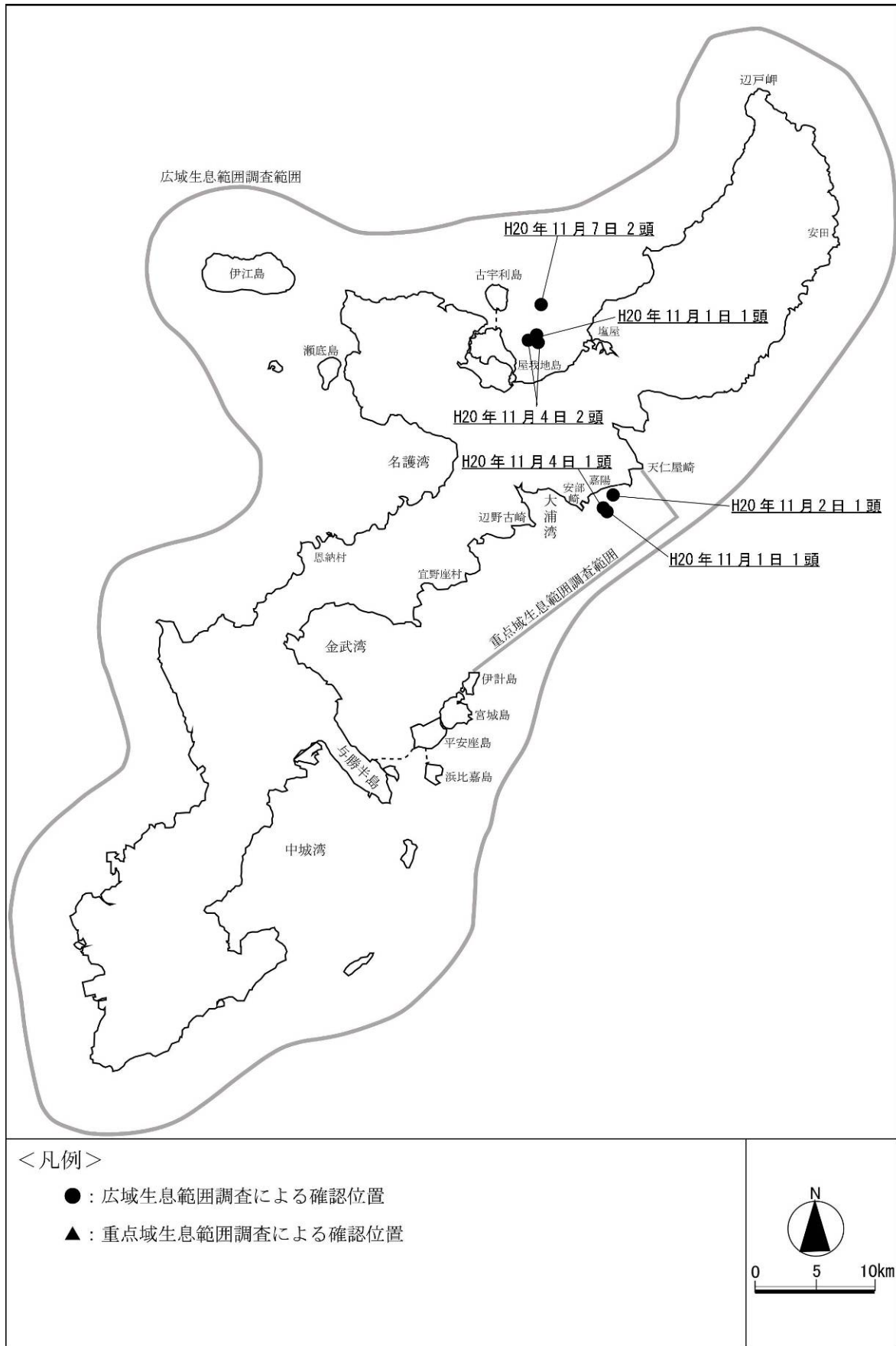


図-6.16.1.6(9) 航空調査によるジュゴン確認位置 (平成20年11月)

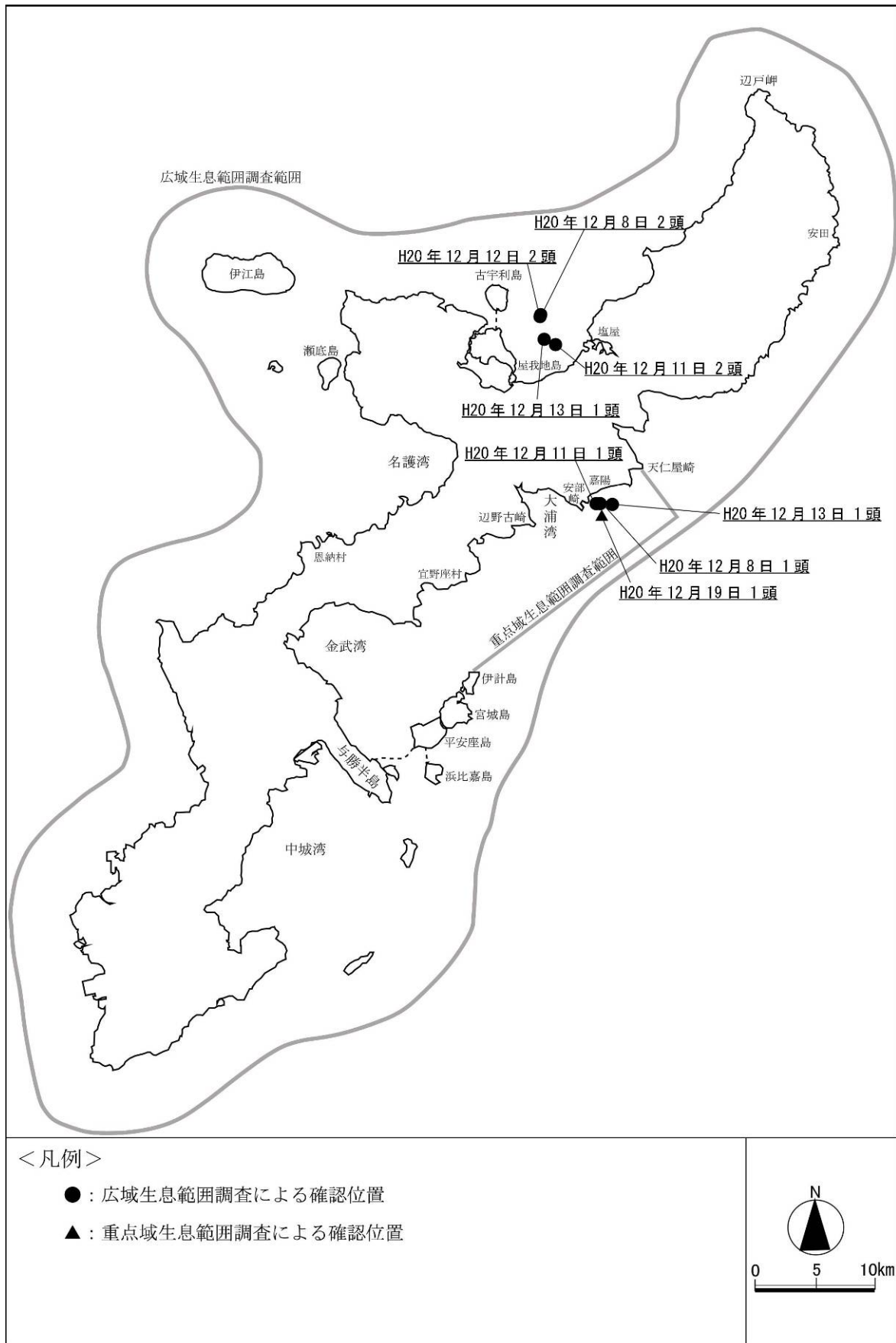


図-6.16.1.6(10) 航空調査によるジュゴン確認位置 (平成20年12月)

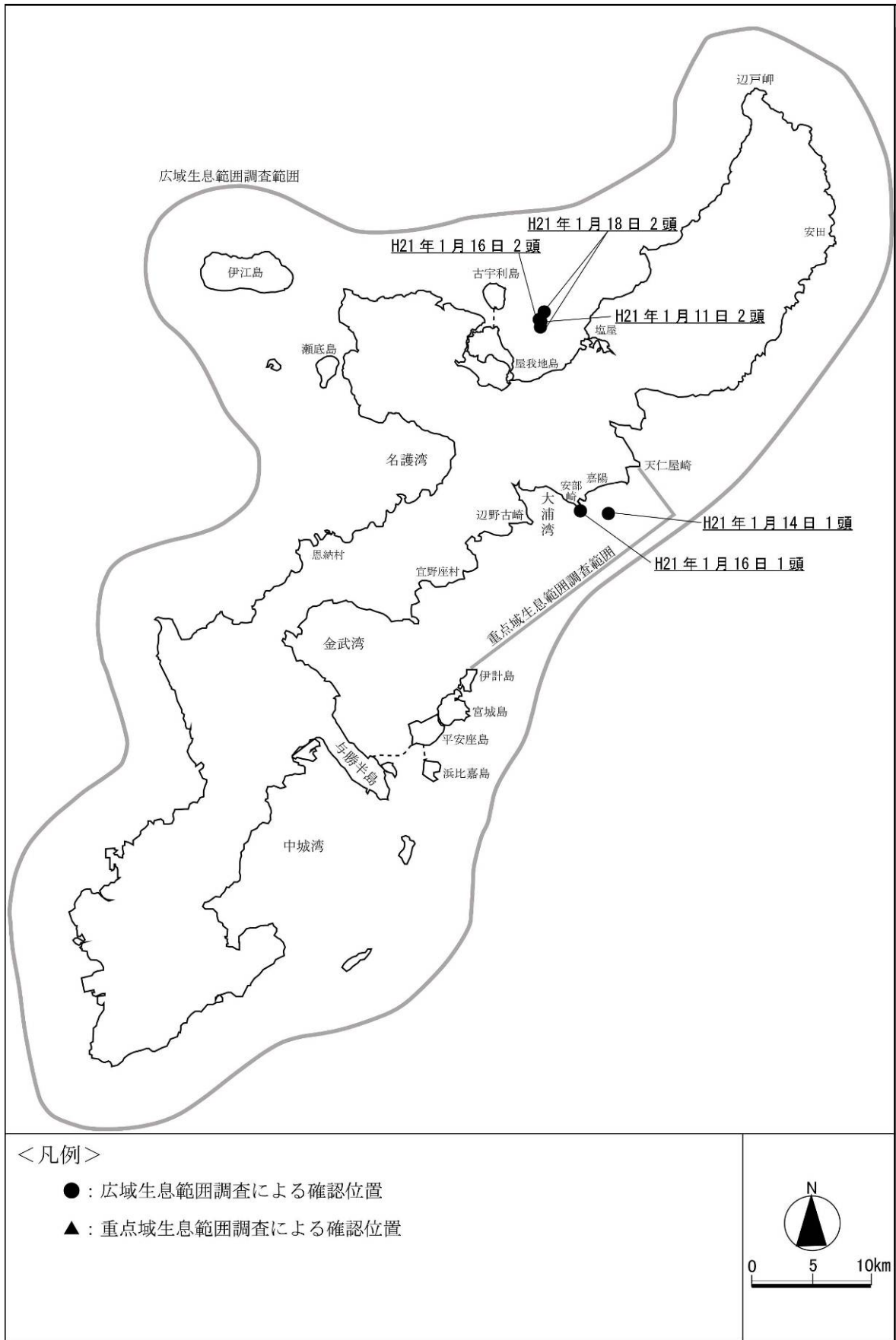


図-6. 16. 1. 6(11) 航空調査によるジュゴン確認位置 (平成 21 年 1 月)

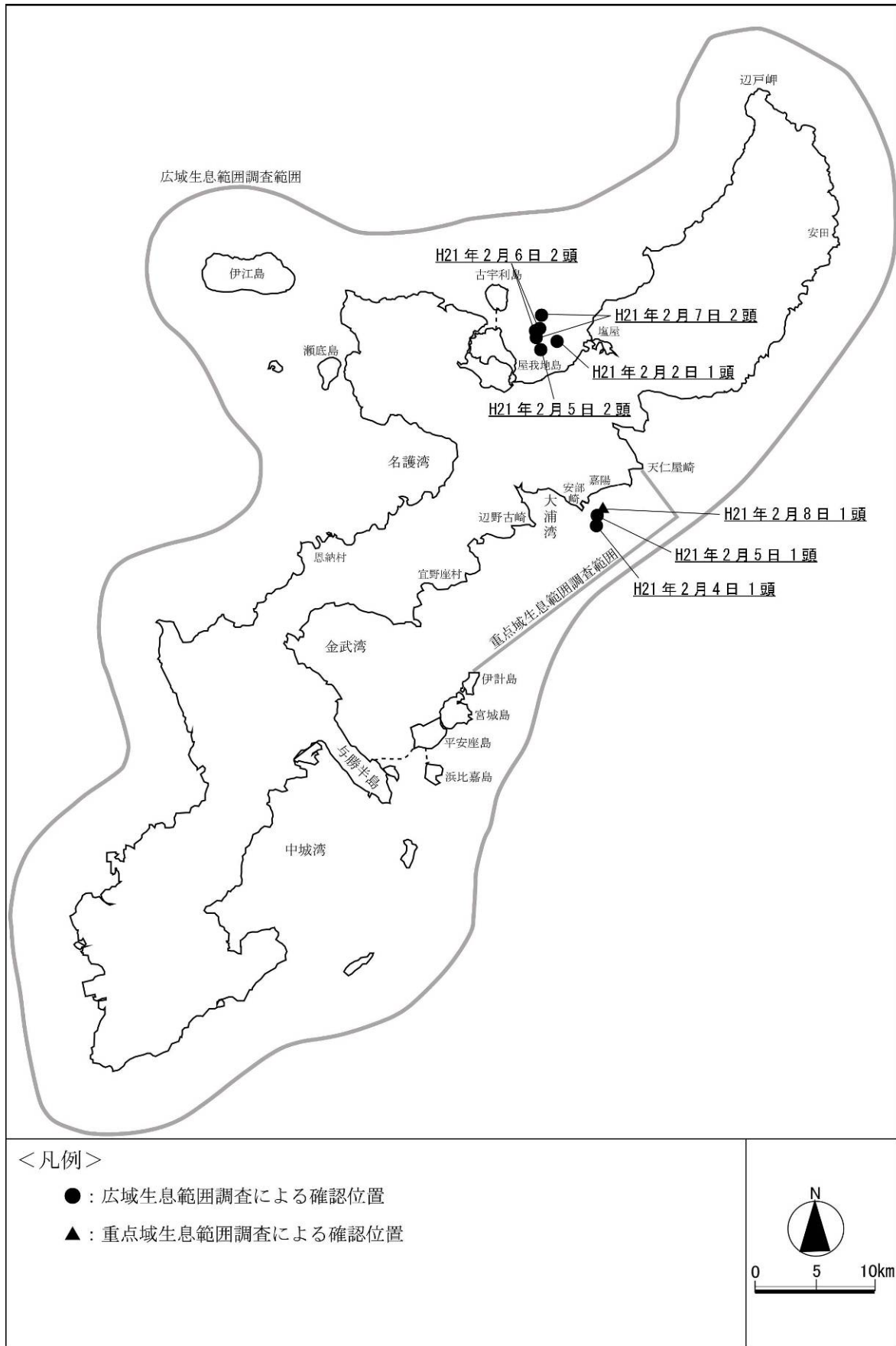


図-6. 16. 1. 6(12) 航空調査によるジュゴン確認位置 (平成 21 年 2 月)

表-6. 16. 1. 2(1) ジュゴンの追跡調査結果概要

調査年	調査月日	追跡海域	追跡頭数	個体番号	成獣・幼獣の別	個体識別	開始時刻-終了時刻 (追跡時間)	観察概要
平成 20年	3月17日	嘉陽沖	1頭	No.20	成獣	個体A	07:59-15:20 (7:21)	午前中、ジュゴンは安部崎の沖で、ほとんど動かず、浅い潜水を繰り返し、休息を取っている様子であった。数回、漁船の接近時に回避行動を行うが、すぐに浮遊していた。12時頃より安部オール島のリーフに沿って回り込み、バン崎方向にゆっくりと遊泳した。バン崎沖に達すると深い潜水と浅い潜水を交互に行い、一時は沖に向かうが、すぐに転進し嘉陽に向かった。礁縁沖の瀬周辺で深い潜水を繰り返した。
	3月21日	嘉陽沖	1頭	No.21	成獣	個体A	07:53-09:12 (1:19) 16:12-16:59 (0:47)	ジュゴンは、安部崎沖で、ほとんど動かず、浅い潜水を繰り返し、休息を取っている様子であった。8時50分頃、ゴムボート2隻がジュゴンのほぼ真上を通過、その後、深い潜水を繰り返すようになった。更に9時頃には漁船の接近があり、9時12分頃見失った。夕方、再確認されたジュゴンは、午前中の個体と同一であった。ジュゴンは、ウミガメを追いかけ、次第に嘉陽の礁縁に向かって移動した。
	3月22日	嘉陽沖	1頭	No.22	成獣	個体A	11:17-12:26 (1:09)	ジュゴンは、水面近くを漂いながら北北東方向にゆっくりとした速度で移動した。嘉陽の礁縁沖の瀬に到達すると、深く長い潜水を繰り返した。
	3月25日	古宇利島沖	2頭	No.23	成獣	個体B	08:03-17:05 (9:02)	2個体とも古宇利島の東の水路内を南北に移動し、礁縁付近では深い潜水を繰り返す行動がみられた。時々、休息を取るように水面近くを漂う行動がみられた。8時45分から10時頃までは、2個体は行動を共にしていたが、他の時間帯は、別々の行動であった。
				No.24	成獣	個体C	07:56-17:03 (9:07)	
	3月26日	嘉陽沖	1頭	No.25	成獣	個体A	08:49-18:11 (9:22)	ジュゴンは、安部オール島の沖、約2kmの海域で、ほぼ半日間、水面近くを漂っていた。15時30分よりゆっくりとした速度で北上し、安部オール島沖からギミ崎沖に達した。嘉陽の礁縁に沿って、深い潜水を繰り返しながら、東西に行き来した後、18時頃、嘉陽の礁縁に達した。
	4月6日	嘉陽沖	1頭	No.26	成獣	個体A	08:16-08:54 (0:38)	ジュゴンは、ギミ崎の沖でウミガメを追う行動がみられた。
古宇利島沖		2頭	No.27	成獣	個体B	08:02-16:42 (8:40)	個体Bの確認後、約500m離れた場所で個体Cを確認した。2個体とも古宇利島の東の水路内の狭い範囲を南北に移動しながら、時々、東側の浅瀬(水深5~10m程度)に入り、長く潜水し、摂餌している様子であった。発見位置を中心に半径約1kmの範囲の狭い範囲を移動しており、ほとんどペアで行動していた。	
			No.28	成獣	個体C	08:17-16:42 (8:25)		

注) 個体番号は平成19年度調査(No.1~19)からの通算で示しています。

表-6. 16. 1. 2(2) ジュゴンの追跡調査結果概要

調査年	調査月日	追跡海域	追跡頭数	個体番号	成獣・幼獣の別	個体識別	開始時刻-終了時刻 (追跡時間)	観察概要
平成 20年	4月7日	嘉陽沖	1頭	No.29	成獣	個体A	08:03-08:40 (0:37) 10:24-10:43 (0:19) 12:18-12:23 (0:05) 14:12-14:22 (0:10) 15:59-16:02 (0:03)	ジュゴンは、一日中、ウミガメを追う行動がみられた。嘉陽沖から、大浦湾口までウミガメを追いながら移動した。
		古宇利島沖	2頭	No.30	成獣	個体B	09:41-17:30 (7:49)	個体Cを確認後、約1km西に離れた場所で個体Bを確認した。2個体とも古宇利島の東の水路内の狭い範囲を(前日と同じ場所)を中心に前日より少し大きく南北に移動しながら、時々、浅瀬(水深5~10m程度)に入り、5~10分の長い潜水を行い、海底をゆっくり這っている行動が観察された。摂餌していると推測された。10時40分から1時間ほど、2頭は一緒に行動していたが、その他の時間は、別々に行動していた。
				No.31	成獣	個体C	08:03-18:15 (10:12)	
	4月8日	嘉陽沖	1頭	No.32	成獣	個体A	08:16-11:05 (2:49)	ジュゴンは、安部オール島から嘉陽沖を、ゆっくりと、大きく時計回りに遊泳していた。10時頃から、ほとんど動かず浅い潜水を繰り返して、休息をとっている様子であった。
	4月11日	嘉陽沖	1頭	No.33	成獣	個体A	08:04-08:49 (0:45) 10:33-10:37 (0:04) 12:21-12:26 (0:05) 14:12-14:13 (0:01) 15:26-15:31 (0:05)	ジュゴンは、安部オール島の沖合で、漂うようにほとんど動かず、休息をとっている行動が観察された。その後、安部オール島沖から、ギミ崎沖、嘉陽沖で確認された。
		古宇利島沖	2頭	No.34	成獣	個体B	11:27-17:11 (5:44)	個体Bは、古宇利島東の水路近くの浅場を中心に長い潜水を繰り返して、摂餌と推測される行動が観察された。 個体Cは、屋我地島の東沖から塩屋の礁縁までの間を、活発に泳ぎ、往復した。ときおり、礁縁近くで深い潜水を繰り返した。2個体が行動を共にすることはなかった。
No.35				成獣	個体C	08:16-11:24 (3:08) 15:29-17:06 (1:37)		

注) 個体番号は平成19年度調査(No.1~19)からの通算で示しています。

表-6. 16. 1. 2(3) ジュゴンの追跡調査結果概要

調査年	調査月日	追跡海域	追跡頭数	個体番号	成獣・幼獣の別	個体識別	開始時刻-終了時刻 (追跡時間)	観察概要
平成 20年	4月12日	嘉陽沖	1頭	No.36	成獣	個体A	09:42-09:51 (0:09) 11:24-12:03 (0:39) 13:45-14:03 (0:18)	ジュゴンは、安部オール島沖からバン崎方向に移動した。浅い潜水を繰り返し、ゆっくりと遊泳していた。12時頃には、ウミガメを追う行動が観察された。
		古宇利島沖	2頭	No.37	成獣	個体B	07:51-15:50 (7:59)	屋我地島の東沖で、2頭でゆっくり泳ぐジュゴンを確認した。15時頃まで、2頭のジュゴンは、行動を共にし、古宇利島東の水路を南北に移動していた。礁縁近くで深い長い潜水を繰り返す行動が多く観察された。15時以降、個体Bは北西方向に、個体Cは南方向に分かれ、別行動をとった。
				No.38	成獣	個体C	07:51-17:45 (9:54)	
	5月17日	嘉陽沖	1頭	No.39	成獣	個体A	07:56-17:28 (9:32)	バン崎沖から天仁屋崎方向に水面近くをゆっくりと泳ぐジュゴンを確認した。天仁屋崎の南で転進し、礁縁に沿って漂うように嘉陽方向に移動した。ほとんど身体を動かさずに休息(睡眠)をとる行動がみられた。ギミ崎沖まで移動したところで再び転進し、嘉陽沖の瀬まで戻った。嘉陽沖の瀬で深い潜水を繰り返した。
	5月18日	古宇利島沖	2頭	No.40	成獣	個体B	07:29-17:58 (10:29)	古宇利島の東の水路近くの浅瀬で2頭のジュゴンを確認した。個体Bは浅瀬を中心に南北1kmの範囲を移動し、水深5m程度の海底に長い潜水を繰り返す行動(摂餌行動)がみられた。個体Cは、個体Bと行動を共にするが、時々離れ個体Bより広い範囲を移動し、しばらくすると、個体Bの場所に戻ってきた。16時頃から、2頭で水面を北西方向にゆっくりと遊泳し、古宇利島の礁縁まで近づくと反転し、再び古宇利島東の水路方向に移動した。
				No.41	成獣	個体C	07:48-17:58 (10:10)	
	5月21日	嘉陽沖	1頭	No.42	成獣	個体A	07:58-09:01 (1:03) 09:46-09:52 (0:06) 11:42-12:04 (0:22) 14:41-15:14 (0:33) 15:42-18:31 (2:49)	嘉陽の沖の瀬を中心に安部オール島から嘉陽沖の範囲を、水面近くをゆっくりと泳いでいた。礁縁に近くなると、漂うように浅い潜水を繰り返す行動がみられた。夕刻には、徐々に嘉陽の礁縁の口に近づき、深い潜水を繰り返した。
		古宇利島沖-国頭村西海域	1頭	No.43	成獣	個体C	7:56-12:20 (4:24)	古宇利島の東約4.6kmで、海面近くを東方向にゆっくりと一定の速度(時速約3.5km)で移動するジュゴンを確認した。大宜味村沖で海岸線に沿うように北東方向に転進した。赤丸岬を回り込み、12時20分頃、国頭村の沖に達したところで深い潜水を繰り返した。

注) 個体番号は平成19年度調査(No.1~19)からの通算で示しています。

表-6. 16. 1. 2(4) ジュゴンの追跡調査結果概要

調査年	調査月日	追跡海域	追跡頭数	個体番号	成獣・幼獣の別	個体識別	開始時刻-終了時刻 (追跡時間)	観察概要
平成 20年	5月23日	嘉陽沖	1頭	No.44	成獣	個体A	14:44-18:15 (3:31)	ジュゴンは、ギミ崎沖を漂っていたが、ウミガメを見つけると、追うように深い潜水を繰り返しながら、安部オール島沖を往き来した。夕刻には、ウミガメを追うのを止め、水面近くをゆっくりと嘉陽の礁縁方向に移動した。
	5月24日	嘉陽沖	1頭	No.45	成獣	個体A	11:00-13:33 (2:33)	ジュゴンは、バン崎沖から水面近くを一定の速度(時速約3~4km)で、海岸線に沿って、東から西に移動し、安部オール島を回り込み、大浦湾の入り口まで達した。ときおり、礁縁に深く潜る行動がみられた。また、漁船の接近に対し、大きく回避する行動がみられた。
		古宇利島沖	2頭	No.46	成獣	個体C	13:28-18:00 (4:32)	屋我地島の東で約1km離れて2頭のジュゴンを確認した。個体Bは、水路東側の浅瀬で長い潜水を繰り返し、同じ場所で摂餌と推測される行動がみられた。17時頃から水路を北西方向に横断し、古宇利島側の礁縁で深い潜水を繰り返した。個体Cは、水路内をゆっくり南方向に移動し、夫振岩の近くを通り、15時頃、転進して北方に向った。ほぼ発見位置まで戻り、深い潜水を繰り返した。2個体が接近することは無かった。
	No.47		成獣	個体B	13:46-17:51 (4:05)			
	5月25日	嘉陽沖	1頭	No.48	成獣	個体A	8:20-15:17 (6:57)	安部オール島の沖約2.6kmで、ウミガメを追っているジュゴンを確認した。9時頃からは、水面近くを漂うように、ほとんど動かず、休息をとっている行動がみられた。潮に流されるように東北東方向に移動し、バン崎の沖約2.0kmまで達した。13時頃から、北西にゆっくりと泳ぎ、岸に向かった。途中、ウミガメを見つけると追う行動がみられた。
	5月26日	嘉陽沖	1頭	No.49	成獣	個体A	14:22-14:53 (0:31)	天仁屋崎の南約1kmでジュゴンを確認した。ジュゴンは、水面近くを漂っていた。天候の悪化により、短時間で追跡を中止した。
	6月9日	辺戸岬沖- 国頭村東海域	1頭	No.50	成獣	個体B	09:47-13:55 (4:08)	辺戸岬の東で水面近くを積極的に泳ぐジュゴンを確認した。ジュゴンは、リーフの外側(水深20~30mの等深線に沿うように)を南下していた。13時30分に安田ヶ島の沖からインキナ崎に回り込むまで、時速6~7kmの速度で泳いでいた。安田ヶ島を回り込んでから、深い潜水を繰り返した。安田港を横断した後、礁縁で深い潜水を繰り返した。
	6月11日	古宇利島沖	1頭	No.51	成獣	不明	13:59-17:04 (3:05)	ジュゴンは、古宇利島の南東約4.5kmの水深5m程度の浅瀬にある丸い岩の周辺で、長い潜水を繰り返し、ほとんど移動しなかった。17時頃から浅瀬の縁で、深い潜水を行った。

注) 個体番号は平成19年度調査(No.1~19)からの通算で示しています。

表-6. 16. 1. 2(5) ジュゴンの追跡調査結果概要

調査年	調査月日	追跡海域	追跡頭数	個体番号	成獣・幼獣の別	個体識別	開始時刻-終了時刻 (追跡時間)	観察概要
平成 20年	6月13日	嘉陽沖	1頭	No.52	成獣	個体A	09:54-10:30 (0:36) 10:54-10:58 (0:04) 11:43-11:53 (0:10) 13:34-13:40 (0:06)	ジュゴンは、嘉陽沖から安部オール島の沖の範囲で、水面近くを漂うように休息していた。10時頃に10分間、激しくウミガメを追いかけ、抱きつく行動がみられた。その後、再び、水面近くを漂う行動がみられた。
		嘉陽沖- 国頭村東海 域	1頭	No.53	成獣	個体C	07:57-16:35 (8:38)	嘉陽沖で確認されたジュゴンは、水面近くを積極的に、礁縁の外側（水深20~30mの等深線に沿うように）を北上していた。確認時から終了時まで、平均時速約4kmの速度で、泳いでいた。呼吸の間隔は、約2分であった。ときおり、浮遊物やウミガメに興味を示し追う行動を見せていた。また、漁船が接近すると深く潜水し、沖側に回避する行動がみられた。13時30分頃、高江沖で一時的に泳ぐのを止め、10分ほど休息をとる行動もみられた。
		古宇利島沖	1頭	No.54	成獣	不明 (個体B?)	14:22-15:12 (0:50)	ジュゴンは、古宇利島の南東約4.5kmの水深5m程度の浅瀬にある丸い岩の周辺で、長い潜水(8~10分)を繰り返し、ほとんど移動しなかった。
	6月15日	古宇利島沖	2頭	No.55	成獣	個体C	07:26-18:35 (11:09)	古宇利島の南東約3.5kmで2頭のジュゴンを確認した。2頭は、常に寄り添うように行動しており、古宇利島の東側の水路を南北に大きく移動していた。水面近くで数回の呼吸を行った後、深く長い潜水を行うパターンを繰り返していた。ときおり、短い時間ではあるが水面近くを漂うように休息をとることもみられた。17時頃、深く長い潜水を2頭で行ったのち、個体Bを見失い再確認できなかった。個体Cは、その後も深い潜水を繰り返していた。
				No.56	成獣	個体B	07:26-16:51 (9:25)	
	6月16日	嘉陽沖	1頭	No.57	成獣	個体A	14:44-18:39 (3:55)	ジュゴンは、嘉陽沖の礁縁と沖の瀬の間で、水面近くを漂うように休息をとっていた。17時頃から、水面近くをゆっくりとした速度でパン崎に向かい、転進した後、嘉陽の礁縁の口に向かった。礁縁の口に達したところで、深い潜水を繰り返す行動がみられた。
	6月17日	嘉陽沖	1頭	No.58	成獣	個体A	08:22-18:27 (10:05)	ジュゴンは、嘉陽の沖合でウミガメを追いかけながら北上し、10時30分頃、ギミ崎沖まで移動した。その後は、水面近くを漂いながら潮に流されるように、ゆっくりと大浦湾口まで移動した。ときおり、尾を垂れて全く動かさず、呼吸時のみ鼻孔を水面上に出す行動がみられた。16時頃、ゆっくりとした速度で北に向かい、嘉陽の礁縁の口まで達した。礁縁では、深い潜水を繰り返す行動がみられた。

注) 個体番号は平成19年度調査 (No.1~19) からの通算で示しています。

表-6. 16. 1. 2(6) ジュゴンの追跡調査結果概要

調査年	調査月日	追跡海域	追跡頭数	個体番号	成獣・幼獣の別	個体識別	開始時刻-終了時刻 (追跡時間)	観察概要
平成 20年	7月12日	嘉陽沖	1頭	No.59	成獣	個体A	07:43-18:40 (10:57)	ジュゴンは、沖側からゆっくりと安部オール島に向かって泳ぎ、8時40分頃から水面近くを漂って、礁縁に沿って北東方向に移動した。その後は、水面近くを漂い、浅い潜水を繰り返しながら、安部から嘉陽の沖を東西に往き来した。15時30分頃から30分間ほど、大型のウミガメを活発に追いかけ、深い潜水を繰り返した。徐々に礁縁に近づき、嘉陽の礁縁の口に向かった。
	7月13日	嘉陽沖	1頭	No.60	成獣	個体A	07:46-15:32 (7:46)	ジュゴンは、浅い潜水を繰り返しながら、安部オール島から嘉陽の沖を海岸線に平行に往き来していた。12時30分頃から約45分間、ウミガメを追い、深く活発に潜水する行動がみられた。約2km、沖に移動したところで、水面近くを漂うように休息をとる行動が見られ、15時32分に調査を終了する時点でも水面近くを漂っていた。
	7月14日	嘉陽沖	1頭	No.61	成獣	個体A	07:56-09:14 (1:18) 14:13-14:19 (0:06) 16:05-16:29 (0:24) 17:34-17:45 (0:11)	ジュゴンは、発見時から1時間ほど、ゆっくりとした速度で、ギミ崎沖から東方向に泳ぎ、嘉陽の沖の瀬に達すると、瀬の縁に沿って深い潜水を繰り返していた。14時頃、嘉陽沖で水面近くを漂い、その後も、嘉陽の礁縁付近に留まっていた。
		古宇利島沖	2頭	No.62	成獣	個体B	07:48-18:42 (10:54)	2頭のジュゴンは、常に寄り添うように遊泳しており、頻繁に個体Cが個体Bにまわりつく行動がみられた。古宇利島の東の水路口周辺で、水面近くをゆっくりと泳いでいたが、11時頃からゆっくりと北へ泳いだ。13時頃、西に転進し、30分間ほど漂っていた。古宇利島の北まで達したところで、南に転進し、古宇利島の礁縁に沿って、再び、東の水路に戻った。水路を南下し18時35分に水路のほぼ南端に達した。
	No.63			成獣	個体C	07:48-18:42 (10:54)		
	7月20日	嘉陽沖	1頭	No.64	成獣	個体A	08:26-11:56 (3:30)	ジュゴンは、安部オール島の沖合で水面近くを漂うように東に流されていた。9時頃から深い潜水を繰り返しながら北に向かい、10時20分頃から、嘉陽沖の瀬の縁や瀬の上で潜水を繰り返していた。
	7月21日	嘉陽沖	1頭	No.65	成獣	個体A	07:42-08:36 (0:54) 09:34-09:38 (0:04) 10:45-10:47 (0:02)	ジュゴンは、安部オール島の沖合で、ゆっくりとした速度で水面近くを時計回りに大きく回り、10時45分には、ほぼ発見時位置まで戻った。途中、10分程度、水面を漂うように休息をとる行動もみられた。

注) 個体番号は平成19年度調査 (No.1~19) からの通算で示しています。

表-6. 16. 1. 2 (7) ジュゴンの追跡調査結果概要

調査年	調査月日	追跡海域	追跡頭数	個体番号	成獣・幼獣の別	個体識別	開始時刻-終了時刻 (追跡時間)	観察概要
平成 20年	7月21日	古宇利島沖	1頭	No.66	成獣	個体B	07:39-09:35 (1:56) 12:58-18:06 (5:08)	古宇利島東の水路と浅瀬の縁辺部において、潜水を繰り返し、長い時は10分程度の潜水を行っていた。13時頃と16時頃、水面を漂うように休息をとる行動がみられた。浅瀬では、海底を這う行動もみられた。
			1頭	No.67	成獣	不明 (個体C?)	08:07-11:13 (3:06)	水面近くをゆっくりと東に泳ぎ、大宜味沖の礁縁に達したところで、北東に転進した。大宜味村の大兼久沖で、深く長い潜水を繰り返しながら、徐々に東に移動した。11時13分、深い潜水を行い、見失った。
			1頭	No.68	成獣	個体C	17:18-18:39 (1:21)	古宇利島の東の水路で深く長い潜水を行い、積極的に泳ぐ行動がみられた。古宇利島東の水路を東側から西側に渡り、水路際の深場で深い潜水を繰り返した。18時頃、再び水路の東側に戻った。No.67と形態的に似ており、No.67と同一個体の可能性がある。
	8月4日	嘉陽沖	1頭	No.69	成獣	個体A	08:00-18:07 (10:07)	ギミ崎沖で確認されたジュゴンは、方向を定めずに、ゆっくりと水面近くを漂うように泳ぎ、嘉陽沖から安部オール島の南まで移動した。安部オール島の礁縁に達すると反転し、嘉陽方向に戻り、嘉陽沖の瀬周辺から礁縁に沿って東に移動した。
		古宇利島沖	1頭	No.70	成獣	個体C	13:35-14:31 (0:56)	ジュゴンは、深い潜水を繰り返しながら屋我地島東の水路の縁に沿ってゆっくりと北上していた。潜水間隔は約7分であった。14時頃からは、水面を漂うように浅い潜水を行っていた。
	8月5日	古宇利島沖	1頭	No.71	成獣	個体C	13:33-17:19 (3:46)	ジュゴンは、15時30分頃まで、水面近くの浅い深度を南に漂うように移動した。時々、完全に浮遊し、睡眠している様子も確認された。15時30分以降、深く長い潜水と、浅い短い潜水を交互に行いながら、南に移動し夫振岩を超えたところで反転し、深い潜水を繰り返しながら北上した。
	8月6日	嘉陽沖	1頭	No.72	成獣	個体A	08:38-09:33 (0:55)	ジュゴンは、安部オール島の沖合で約1時間、活発にウミガメを追い、抱きつく行動がみられた。
		古宇利島沖	1頭	No.73	成獣	個体B	07:38-10:10 (2:32)	ジュゴンは、古宇利島の東の水路を北方向に、非常にゆっくりとした速度で泳いでいた。9時頃、北西に転進すると、積極的に泳いだ。古宇利島の北西沖で9時30分頃からしばらく休息をとるようには漂っていた後、浅い潜水を繰り返しながら南西方向に移動し、古宇利島の礁縁に達した。
	8月7日	嘉陽沖	1頭	No.74	成獣	不明 (個体C?)	07:33-10:05 (2:32)	安部崎の礁縁で水面近くを積極的に泳ぐジュゴンを確認した。ジュゴンは、早い速度で泳ぎ、安部オール島を回り込み、礁縁に沿って北東方向に泳ぎ、9時30分頃パン崎の手前で転進し、礁縁の直近を南西にゆっくりとした速度で泳いだ。時々、深い潜水を繰り返していた。

注) 個体番号は平成19年度調査 (No.1~19) からの通算で示しています。

表-6. 16. 1. 2(8) ジュゴンの追跡調査結果概要

調査年	調査月日	追跡海域	追跡頭数	個体番号	成獣・幼獣の別	個体識別	開始時刻-終了時刻 (追跡時間)	観察概要
平成 20年	8月7日	嘉陽沖	1頭	No.75	成獣	個体A	09:46-12:00 (2:14)	嘉陽沖を漂うように休息をとり、ゆっくりと南西方向に移動した。
	8月8日	嘉陽沖	1頭	No.76	成獣	個体A	07:32-14:11 (6:39)	安部オール島の沖合で、ウミガメを追うジュゴンを確認した。ジュゴンは9時頃までウミガメを追いながら、嘉陽沖の浅瀬の縁まで移動した。その後、13時40分までは、嘉陽沖の浅瀬の縁に沿って、潜水を繰り返しながらゆっくりと東西に往き来していた。時々、水面近くを漂うように休息をとる行動もみられた。13時40分、再びウミガメを見つけると活発に追い回し、抱きつく行動がみられた。ウミガメを追いながら、安部オール島の近くに達した。
		古宇利島沖	1頭	No.77	成獣	個体B	14:04-18:20 (4:16)	ジュゴンは、屋我地島の礁縁付近(水深5~10m程度)の海底に繰り返し潜水を行っていた。礁縁に沿って北上しながら、同様に潜水していた。16時頃、東方向に水路を横切り、水路東側の浅瀬で、再び海底までの潜水を繰り返していた。水路を横切る際は水面近くを直線的に泳いでいた。海底までの潜水を繰り返す際は、5~10分の比較的長い潜水で、摂餌行動をとっているものと推測された。
	8月11日	嘉陽沖	1頭	No.78	成獣	個体A	08:24-12:54 (4:30)	安部オール島の礁縁でジュゴンを確認した。10時頃までは、浅い深度をゆっくりと東北東に移動した。時々、漂うように休息をとる行動がみられた。嘉陽沖の瀬に達すると、その周辺に留まり、浅い潜水を繰り返していた。
			1頭	No.79	成獣	個体C	10:15-11:29 (1:14)	嘉陽の沖の瀬の縁で、深く長い(10分位)潜水を繰り返していた。個体Aとの距離は、接近したときで約100mであった。互いに意識している様子はみられなかった。
	8月12日	嘉陽沖	1頭	No.80	成獣	個体A	11:04-18:30 (7:26)	安部オール島の礁縁でウミガメを追うジュゴンを確認した。ジュゴンは、13時30分頃まで、活発にウミガメを追い、抱きつく行動がみられた。ウミガメを追いながら、東北東に移動した。その後、ゆっくりと沖(南東)に向かって泳いだ。15時頃からは、ほとんど動かずに、水面近くを漂うように休息をとっていた。時々、尾を垂れてほとんど動かず、水面に浮き、睡眠をとっていた。次第に西に流され、18時30分、ギミ崎の沖まで達した。
	8月13日	嘉陽沖	1頭	No.81	成獣	個体A	12:59-18:39 (5:40)	安部オール島の沖合でウミガメを追うジュゴンを確認した。ジュゴンは、13時30分頃まで、活発的にウミガメを追い、繰り返し深い潜水を行っていた。その後は、ギミ崎に向かって、ゆっくりと移動した。15時頃から、ほとんど動かず、水面近くを浮遊するように漂い、休息をとっていた。潮に流されるように北東方向に移動し、嘉陽沖まで移動した。17時頃から10分程度、力強く泳ぎ礁縁に向かった。その後、礁縁に沿って、浅い潜水を繰り返しながら、嘉陽の礁縁の口まで移動した。

注) 個体番号は平成19年度調査 (No.1~19) からの通算で示しています。

表-6. 16. 1. 2 (9) ジュゴンの追跡調査結果概要

調査年	調査月日	追跡海域	追跡頭数	個体番号	成獣・幼獣の別	個体識別	開始時刻-終了時刻 (追跡時間)	観察概要
平成 20年	9月10日	嘉陽沖	1頭	No.82	成獣	不明 (個体C?)	07:38-09:23 (1:45)	ジュゴンは、大浦湾の中央部からカヌチャベイにむかって、ゆっくりと水面近くを移動した。カヌチャベイの礁縁で、深く長い潜水を同じ場所で繰り返していた。9時20分頃、安部崎に向かって移動を開始した。礁縁で深く長い潜水して、見失った。
	9月19日	嘉陽沖	1頭	No.83	成獣	個体A	08:44-18:00 (9:16)	安部オール島の沖合で、水面近くを漂うジュゴンを確認した。ジュゴンは、漂うように休息をとっていたが、ウミガメを見つけると、水深深くまで追う行動がみられた。ウミガメを追ったり、休息したりを繰り返し、ゆっくりと西北西に流されるように移動した。13時40分頃から、東北東に泳ぎ嘉陽沖の瀬に達した。15時頃から、瀬の外周を反時計回りに回り、時々、深い潜水を繰り返した。17時頃、瀬の上を横断し、海底上で留まる行動がみられた。その後、嘉陽の礁縁の口に向かい、ゆっくり移動した。
	9月20日	嘉陽沖	1頭	No.84	成獣	個体C	08:18-13:35 (5:17) 14:09-16:59 (2:50)	バン崎沖で、表層を泳ぐジュゴンを確認した。ゆっくりとした速度であるが、礁縁に沿って西南西へ移動していた。9時30分頃、安部オール島を回り込み、大浦湾口へ向かった。安部オール島の西約1.5kmに達すると、13時30分頃まで、大浦湾口に留まり、深く長い潜水を繰り返していた。14時30分頃、水面近くをゆっくり東に泳ぎ安部オール島まで移動するが西に戻り、再び大浦湾口で深く長い潜水を繰り返した。
			1頭	No.85	成獣	個体A	10:37-13:13 (2:36) 14:21-17:53 (3:32)	大浦湾口でウミガメを追うジュゴンを確認した。活発にウミガメを追いついていたが、追跡調査開始後、まもなくウミガメを追う行動をやめた。その後は、水面近くを漂い、14時30分頃まで、休息状態を続け、潮に流されるように、大きく時計回りに移動した。14時30分頃から、北東方向に、ゆっくりとした速度で泳ぎ、17時頃、嘉陽沖の瀬に達した。
		古宇利島沖	1頭	No.86	成獣	個体B	13:30-14:01 (0:31)	屋我地島の東でジュゴンを確認した。観測中、ほぼ同じ位置で、深く長い潜水を繰り返していた。
	9月22日	古宇利島沖	1頭	No.87	成獣	個体B	08:02-10:51 (2:49) 14:53-17:56 (3:03)	屋我地島の東で水面近くを泳ぐジュゴンを確認した。水路に沿って、最初は水面近くを、8時30分頃からは深い潜水を繰り返し、南北に移動した。途中、水路の西側で、漂うように1時間ほど休息をとる行動がみられた。15時頃からは、屋我地島の東の東西の水路に沿って、水面近くをゆっくりと東に移動し、時折、水路の縁で深い潜水を繰り返した。17時頃、反転し、直線的に西に向かい、水路の西端まで達したところで、同じ場所で深い潜水を繰り返した。

注) 個体番号は平成19年度調査 (No.1~19) からの通算で示しています。

表-6. 16. 1. 2(10) ジュゴンの追跡調査結果概要

調査年	調査月日	追跡海域	追跡頭数	個体番号	成獣・幼獣の別	個体識別	開始時刻-終了時刻 (追跡時間)	観察概要
平成 20年	9月23日	嘉陽沖	1頭	No.88	成獣	個体A	09:16-15:43 (6:27)	嘉陽の沖をゆっくり南西に泳ぐジュゴンを確認した。嘉陽の沖の瀬に達したところで、瀬の周辺で深い潜水を繰り返した。時々、表層を漂う行動もみられた。天候により、一時、追跡を中断した。14時30分頃、大浦湾口の礁縁で再確認した。表層をゆっくりと東に移動し、安部オール島を回り込んだところで、しばらく表層を漂い、休息をとる行動がみられた。15時30分頃から、深い潜水を繰り返しながら嘉陽方向に移動した。
	9月24日	嘉陽沖	1頭	No.89	成獣	個体A	08:53-09:56 (1:03) 11:23-11:37 (0:14) 15:21-15:44 (0:23)	嘉陽の沖でジュゴンを確認した。ジュゴンは、深い潜水を繰り返し、東にゆっくりと移動したが、9時10分頃から水面に漂い、流されるように西に移動した。嘉陽の礁縁に沿って、西に移動した。15時21分、No.90の個体と交差するが、接触する行動は見られなかった。その後、安部オール島方向に移動し、礁縁で深い潜水を繰り返した。
			1頭	No.90	成獣	個体C	11:40-17:39 (5:59)	天仁屋崎の北で、水面を漂うジュゴンを確認した。ジュゴンは、ゆっくりと北西に流されていたが、12時頃、南西にゆっくり泳ぎ始めた。13時頃からは、積極的に礁縁に沿って、天仁屋崎を回り込み、嘉陽沖まで泳いだ。15時頃、ギミ崎沖で台風による浮遊ゴミや濁りを避けるように沖に転進し、15時21分、No.89の個体と交差した。その後、安部オール島を回り込み、大浦湾の奥へ、リーフに沿って進んだ。カヌチャベイの沖から、深い潜水を繰り返し、汀間港の沖まで達した。
		古宇利島沖	1頭	No.91	成獣	個体B	07:41-11:47 (4:06) 13:30-13:32 (0:02) 15:06-15:12 (0:06)	古宇利島南東約3.5kmの水路内で水面を漂うジュゴンを確認した。約40分間、同じ場所で漂っていた。8時30分頃から水面近くをゆっくりとした速度で南に泳いだ。11時頃、水路の南端に達したところで、転進し北へ積極的に泳ぎ始めるが、漁船の接近により回避行動をとった後は、ゆっくりした速度となった。15時頃、発見位置とほぼ同じ場所に戻り、ゆっくりと水路東側の浅瀬に向かって移動した。
	9月26日	嘉陽沖	1頭	No.92	成獣	個体A	08:42-17:25 (8:43)	安部オール島の沖で東にゆっくり泳ぐジュゴンを確認した。9時20分頃から漂うように北に流され、安部オール島の南東沖に達した。日中は、安部オール島沖に留まり、水面近くで浮遊し、休息をとっていた。小型のウミガメを短時間追う行動もみられた。16時頃から、北方向に泳ぎ、嘉陽の沖の瀬に達した。徐々に瀬を回り込み、嘉陽の礁縁の口に向かった。

注) 個体番号は平成19年度調査 (No.1~19) からの通算で示しています。

表-6. 16. 1. 2(11) ジュゴンの追跡調査結果概要

調査年	調査月日	追跡海域	追跡頭数	個体番号	成獣・幼獣の別	個体識別	開始時刻-終了時刻 (追跡時間)	観察概要
平成 20年	10月12日	嘉陽沖	1頭	No.93	成獣	個体A	08:12-17:37 (9:25)	1日中、嘉陽沖を漂うように浅い潜水を繰り返していた。ときおり、接近する船舶を回避するために、深い潜水を行ったり、積極的に泳いだりした。12時頃からは、徐々に岸に向かい移動した。嘉陽沖の瀬の縁に達したところで、瀬の沖側を東西に漂い、17時頃から瀬の縁で深い潜水を繰り返すようになった。16時頃、10分間ほどウミガメを追う行動が見られた。
	10月13日	古宇利島沖	2頭	No.94, 95	成獣	個体B, C	08:00-17:25 (9:25)	終日、2頭で行動しており、常に寄り添うように行動していた。屋我地島の東の水路で漂うように浅い潜水を繰り返したり、水路の縁で深く長い潜水を繰り返したりしながら、東西に移動していた。正午を挟んで一時的に見失ったが、14時頃再確認した。午前と同様に瀬の縁を東西に移動し、時々、深く長い潜水を繰り返していた。15時50分頃、水路を横断し、古宇利島側の礁縁に移動した。礁縁に沿って、深い潜水を繰り返し、古宇利島南西の礁原に入り込んだ。
	10月14日	嘉陽沖	1頭	No.96	成獣	個体A	08:08-17:05 (8:57)	安部オール島の東から西方向にゆっくりと浅い深度を泳ぎ、移動するジュゴンを確認した。9時頃安部オール島の南の礁縁に達したところで、深い潜水を繰り返した。しばらく同じ場所に留まった後、安部オール島を回り込み、ギミ崎の沖まで達したところで、漂うように休息をとる行動が見られた。その間、時々、流れ藻を追ったり、身体を反転させ腹を見せたりする行動も見られた。13時30分頃見失い、15時40分頃ギミ崎沖で再確認した。礁縁に近い場所で長く深い潜水を行っていた。
		古宇利島沖	1頭	No.97	成獣	個体C	13:32-14:39 (1:07)	屋我地島東の瀬の周辺を深く長い潜水を繰り返していた。瀬を回り込むように北西に移動した。息継ぎの間隔は、10分程と長かった。
	10月16日	古宇利島沖	2頭	No.98, 99	成獣	個体B, C	08:03-09:40 (1:37)	2頭は接するよう行動していた。古宇利島東の水路を浅い深度でゆっくり西へ泳ぎ、水路を横断した。古宇利島の礁縁に沿って潜水を繰り返した後、再び東へ移動した。9時40分、天候不良により待避し、調査を終了した。
	10月21日	嘉陽沖	1頭	No.100	成獣	個体A	09:20-11:49 (2:29)	安部オール島の礁縁で深く長い潜水を繰り返すジュゴンを確認した。10時20分頃から、表層をゆっくりと東に泳ぎ、安部オール島の東沖に達したところで、小型のウミガメを見つけ、活発に追い回し、お腹の上に乗せるような行動を約20分間行った。10時50分頃から、表層を漂うようにギミ崎方向に流されていた。11時20分頃から、少し深めを深度で漂う行動が見られた。11時50分頃、深い潜水をジュゴンが繰り返し見失った。

注) 個体番号は平成19年度調査 (No.1~19) からの通算で示しています。

表-6. 16. 1. 2(12) ジュゴンの追跡調査結果概要

調査年	調査月日	追跡海域	追跡頭数	個体番号	成獣・幼獣の別	個体識別	開始時刻-終了時刻 (追跡時間)	観察概要
平成 20年	11月1日	嘉陽沖	1頭	No.101	成獣	個体A	08:13-12:40 (4:27)	嘉陽の沖合で漂うように浮遊しているジュゴンを確認した。流されるようにゆっくりと北東方向に移動した。8時30分から約30分間、ゆっくりとした速度だが北東方向に泳ぎ、バン崎の南まで移動した。その後は、漂いながら、徐々に礁縁に近づいた。12時40分、礁縁で深い潜水を行い見失った。
		古宇利島沖	1頭	No.102	成獣	個体C	08:04-09:39 (1:35)	古宇利島の東の水路を北にゆっくりと移動するジュゴンを確認した。時々、深く長い潜水を行うが、ほとんどは浅い潜水をしながら泳いでいた。9時39分、水面反射により見失った。
	11月2日	嘉陽沖	1頭	No.103	成獣	個体A	08:03-11:03 (3:00)	嘉陽の東沖を漂うジュゴンを確認した。浅い深度を漂い、ほとんど呼吸以外の動きは見られなかった。嘉陽沖からバン崎方向に潮に流されるように移動した。11時頃から降雨により視程不良となったため、調査を終了した。
	11月4日	嘉陽沖	1頭	No.104	成獣	個体A	08:06-17:15 (9:09)	嘉陽沖の瀬の沖側でジュゴンを確認した。やや深め水深をゆっくりと安部オール島に向かって移動した。ほとんど潮に流されている様子であった。安部オール島の礁縁付近に達したところで深い潜水を繰り返し、10時頃まで留まっていた。12時37分の確認時には、嘉陽沖の瀬の東側を北東方向に移動していた。15時45分の確認時には、ギミ崎沖で北東方向に移動していた。17時8分の確認時には、嘉陽の礁縁の口に向かってゆっくりと泳いでいた。
		古宇利島沖	1頭	No.105	成獣	個体B	11:26-16:48 (5:22)	個体Cを追跡していたところ、11時26分に古宇利島の南東で確認した。古宇利島南東の礁縁に沿って深い潜水を繰り返していた。15時頃、古宇利島側の礁原に入ったところで個体Cと同時に浮上したが、すぐに別方向に移動した。個体Bは東へ移動し、礁縁で深く長い潜水を繰り返した。
	1頭		No.106	成獣	個体C	08:11-15:21 (7:10)	屋我地島の東の水路で水面を漂うジュゴンを確認した。9時頃まで、水面近くを漂い南に移動した。その後、深く長い潜水と、浅く短い潜水を交互に繰り返しながら、水路を大きく南から回り込み、古宇利島南東の礁縁に達した。12時頃まで礁縁に沿って、深く長い潜水を繰り返した。12時30分から、古宇利島側の礁原内に入り、摂餌行動と推測される海底をほう行動が見られた。13時頃、礁外に移動し見失った。15時頃、古宇利島の礁内で個体Bとペアでいるところを再確認した。	
	11月7日	古宇利島沖	2頭	No.107, 108	成獣	個体B, C	07:58-14:16 (6:18)	古宇利島の東水路の出口付近を2頭で泳ぐジュゴンを確認した。2頭は、常に接近して行動しており、古宇利島東からゆっくりではあるが、ほぼ真北に泳いでいた。個体Cが個体Bに身体をすり寄せる行動も頻繁に見られた。12時半頃、赤丸崎より北の位置まで北上した後、泳ぐのを止め、2頭とも漂うように水面近くで休息をとり、ゆっくり西へ流されていた。

注) 個体番号は平成19年度調査 (No.1~19) からの通算で示しています。

表-6. 16. 1. 2(13) ジュゴンの追跡調査結果概要

調査年	調査月日	追跡海域	追跡頭数	個体番号	成獣・幼獣の別	個体識別	開始時刻-終了時刻 (追跡時間)	観察概要
平成 20年	12月8日	嘉陽沖	1頭	No.109	成獣	個体A	08:02-14:55 (6:53)	嘉陽の礁縁で漂うジュゴンを確認した。終日、嘉陽からギミ崎の礁縁と瀬の周辺を漂うように浮遊していた。13時頃には、頭と尾を垂れて、睡眠をとっている行動も見られた。
		古宇利島沖	2頭	No.110	成獣	個体B	13:47-16:56 (3:09)	古宇利島東の水路の縁で2頭のジュゴンを確認した。2頭は、南北に約150m離れていた。北側のジュゴン(個体C)は、水路を北東に移動し、礁縁で深い潜水をして見失った。南側のジュゴン(個体B)は、水路を漂うように南下し、水路の東側の礁内に入ったところで長い潜水を繰り返した。
				No.111	成獣	個体C	13:47-14:35 (0:48)	
	12月11日	嘉陽沖	1頭	No.112	成獣	個体A	10:38-14:53 (4:15)	ギミ崎の礁縁で、ジュゴンを確認した。大型のウミガメを積極的に追い回し、抱きつく等の行動が見られた。11時30分頃からは、ギミ崎から嘉陽にかけての礁縁を漂うように浮遊していた。
		古宇利島沖	2頭	No.113, 114	成獣	個体B, C	13:56-17:00 (3:04)	屋我地島と塩屋の中間付近で2頭のジュゴンを確認した。2頭は、終日接するような距離で行動していた。屋我地島の東側の浅い水路を南西方向にゆっくりと泳ぎ、水路の南端に達したところで、古宇利島方向に転進し、水路の縁に沿って北上した。16時頃、3分間ほど水面近くで漂った以外は常にゆっくりと泳いでいた。
	12月12日	古宇利島沖	2頭	No.115	成獣	個体B	07:59-15:05 (7:06)	古宇利島の東の水路で2頭のジュゴンを確認した。2頭は接近して行動を共にしていたが、すぐに別行動をとり離れて行動した。個体Bは、水路を南北に移動し、12時頃から、水路東側の瀬の縁に留まり、深く潜水する行動を繰り返していた。個体Cは、水路を大きく南北に移動し、13時頃から浅い潜水を繰り返しながら水路の南端まで南下し、西に転進、水路を横断した。
				No.116	成獣	個体C	07:59-15:18 (7:19)	
	12月13日	嘉陽沖	1頭	No.117	成獣	個体A	08:42-09:39 (0:57) 10:54-10:56 (0:02)	嘉陽の沖合で、水面を漂うように休息をとるジュゴンを確認した。1時間に数回の割合で、深い潜水を行う行動が見られた。11時頃、ギミ崎の礁縁で漂う同個体を再確認した。
		古宇利島沖	1頭	No.118	成獣	個体B	07:53-16:34 (8:41)	屋我地島の東の水路でジュゴンを確認した。10時頃までは、水路の東にある瀬の縁で長い潜水を繰り返していた。その後、12時頃まで表層を漂うように休息をとっていた。12時頃から再び深い潜水を繰り返しながら、ゆっくりと北上し、15時頃から同じ場所に留まり、深く長い潜水を繰り返した。
	12月19日	嘉陽沖	1頭	No.119	成獣	個体A	08:44-17:08 (8:24)	ギミ崎の沖合を漂うジュゴンを確認した。11時50分頃まで水面近くを漂いながら休息をとっていた。その後、安部オール島に向かってやや深い潜水を繰り返しながら移動し、安部オール島沖で反転し、嘉陽の沖合に移動した。15時40分頃、嘉陽沖の瀬の上で海底をはうような潜水を繰り返した。瀬を離れると、嘉陽の礁縁に向かい、嘉陽の礁縁で、深い潜水を繰り返した。

注) 個体番号は平成19年度調査 (No.1~19) からの通算で示しています。

表-6. 16. 1. 2(14) ジュゴンの追跡調査結果概要

調査年	調査月日	追跡海域	追跡頭数	個体番号	成獣・幼獣の別	個体識別	開始時刻-終了時刻 (追跡時間)	観察概要
平成 21年	1月11日	古宇利島沖	2頭	No.120, 121	成獣	個体 B, C	13:41-17:20 (3:39)	古宇利島の東の瀬で2頭のジュゴンを確認した。2頭は、接するような距離で行動し、個体Cが個体Bにすり寄るような行動が頻繁に見られた。水路東側の瀬の縁で深い潜水を繰り返した。14時頃から北方向にゆっくりと移動し、15時30分頃から30分間、同じ場所で潜水を繰り返した。その後、南にゆっくり泳ぎ、17時頃、西に転進して水路を横断し、古宇利島の南東の礁縁に達した。
	1月14日	嘉陽沖	1頭	No.122	成獣	個体 A	08:49-08:49 (0:00) 10:03-11:29 (1:26) 12:14-17:07 (4:53)	嘉陽の沖合で漂うジュゴンを確認した。水深2~3mを南西に流されるように移動した。13時頃、安部オール島の南に達した。その後、ゆっくりと北東方向に泳ぎ、嘉陽沖の瀬に達した。再び漂うように休息をとり、ときおり深い潜水を繰り返した。
	1月16日	嘉陽沖	1頭	No.123	成獣	個体 A	10:13-17:30 (7:17)	安部崎の礁縁でジュゴンを確認した。夕刻まで、安部崎の南側を漂うように休息をとっていた。11時頃と13時頃の2回、安部崎の礁原内に入り込み、海底に長く留まる行動が見られた。流されるように東に移動し、16時頃、安部オール島の沖に達したところで、北北東にゆっくりと泳ぎ、嘉陽沖の瀬に向かった。瀬の周辺で、深く潜水し、海底に長く留まる行動が見られた。
		古宇利島沖	2頭	No.124, 125	成獣	個体 B, C	13:36-14:29 (0:53) 15:43-15:50 (0:07) 16:39-17:25 (0:46)	古宇利島の東の瀬で2頭のジュゴンを確認した。終日、2頭が寄り添うように、行動を共にしていた。古宇利島東の瀬の縁で、漂うように休息をとっていた。14時頃、海底に長く留まる行動が見られた。潮に流されるように北上し、16時30分頃から、ゆっくりと西に泳ぎ、古宇利島南東の礁縁に達した。
	1月18日	古宇利島沖	2頭	No.126	成獣	個体 C	08:04-17:23 (9:19)	古宇利島の東の水路を東西に往き来するするジュゴン(個体C)を確認した。10時頃から12時30分頃まで海底が砂地になっている浅瀬で長い潜水を繰り返した。11時20分、水路の中程の浅瀬で、別のジュゴン(個体B)を確認した。個体Bは、浅瀬で長い潜水を繰り返していた。個体Cは、12時30分頃からゆっくりと南下し、13時頃、個体B合流とした。その後は2頭で水路を南下し、16時40分頃、水路のほぼ南端に達した。西に転進して、古宇利大橋方向へ向かった。
				No.127	成獣	個体 B	11:20-17:23 (6:03)	
	2月2日	古宇利島沖 ~国頭村西 海域	1頭	No.128	成獣	個体 B	13:46-17:30 (3:44)	塩屋湾沖を泳ぐジュゴンを確認した。礁縁に沿うように、速い速度(時速約4km)で北東に泳いでいた。17時20分まで、ほぼ一定の速度で、直線的に泳いだ。17時20分から10分間だけは、西に向い、漂うような速度となった。

注) 個体番号は平成19年度調査 (No.1~19) からの通算で示しています。

表-6. 16. 1. 2(15) ジュゴンの追跡調査結果概要

調査年	調査月日	追跡海域	追跡頭数	個体番号	成獣・幼獣の別	個体識別	開始時刻-終了時刻 (追跡時間)	観察概要
平成 21年	2月4日	嘉陽沖	1頭	No.129	成獣	個体A	08:58-17:46 (8:48)	安部オール島の沖合で水面を漂うジュゴンを確認した。15時30分頃まで、水面近くを漂うように休息をとる行動を続けた。潮に流されるように南西に、12時頃から北東に移動し、嘉陽沖に達した。15時30分頃からゆっくりと水面近くを泳ぎ、嘉陽沖の瀬に向かった。16時30分頃と17時20分頃の2回、短い時間ではあるが、ウミガメを追う行動が見られた。瀬の上で海底まで潜水したり、水面を漂ったりしながら嘉陽の礁縁に近づいた。
	2月5日	嘉陽沖	1頭	No.130	成獣	個体A	08:39-09:35 (0:56) 10:54-11:10 (0:16) 12:43-12:45 (0:02) 14:26-14:39 (0:13) 16:00-16:17 (0:17) 17:32-17:33 (0:01)	安部オール島の沖合で水面を漂うジュゴンを確認した。水面を漂い、ゆっくりとギミ崎方向に移動した。11時頃は、安部崎の南まで移動した。12時40分頃は、安部崎の南のリーフエッジで深い潜水を行っていた。14時30分頃は、再びギミ崎沖で漂っていた。16時頃、ウミガメを追う行動が見られた。17時30分頃、嘉陽沖の瀬で長い潜水を行っていた。
		古宇利島沖	2頭	No.131, 132	成獣	個体B, C	07:55-17:40 (9:45)	屋我地島の東の水路で2頭のジュゴンを確認した。2頭は、終日、寄り添うように行動を共にし、時々、絡み合う行動が見られた。屋我地島東の水路の南端付近で漂っていたが、東にゆっくりと移動をした。9時頃から早い速度で古宇利島の水路に沿って北上し、古宇利島の北西沖まで達した。時々、速度を緩めることも見られたが、それは短時間であった。14時頃、反転し、往路とほぼ同じコースを南下した。復路は、ゆっくりとした速度で泳ぎ、16時頃、約30分間、漂うように休息する行動も見られた。
	2月6日	古宇利島沖	2頭	No.133	成獣	個体C	07:54-13:28 (5:34)	古宇利島南東約3.6kmで、ジュゴン(個体C)を確認した。まもなく、個体Cの北東に約0.5km離れた場所で、別のジュゴン(不明個体)を1頭確認したが、直後見失った。個体Cは、浅い深度をゆっくりと南東に移動しながら、ときおり、長い潜水(10分以上)を行い、海底に留まる行動が見られた。11時頃、反転し、北西に移動し、同様な行動を続けた。13時28分に位置を確認した直後、深く長い潜水を行い、見失った。
No.134				成獣	不明 (個体B?)	08:07-08:08 (0:01)		

注) 個体番号は平成19年度調査(No.1~19)からの通算で示しています。